

TAC の先生のおかげさまで合格！

西田 喜一 さん FAR : 4回目、BEC : 1回目
REG : 5回目、AUD : 4回目

1

モチベーションの維持×仲間×諦めないこと

小島 秀介 さん FAR : 2回目、BEC : 4回目
REG : 2回目、AUD : 5回目

2

苦節4年目で掴んだ栄光

船越 寛 さん FAR : 3回目、BEC : 2回目
REG : 3回目、AUD : 2回目

3

TAC・Becker のみで短期一発合格

S.K さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

4

最後の1分まであきらめない気持ちが大切！！

伊東 敬 さん FAR : 2回目、BEC : 2回目
REG : 2回目、AUD : 3回目

5

自分らしさを大切に。

S.B さん FAR : 3回目、BEC : 3回目
REG : 3回目、AUD : 7回目

6

ROUTE99 - YES WE CAN !!

織井 廷旭 さん FAR : 1回目、BEC : 3回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

7

忙しい社会人は予備校の徹底活用を

西村 隆 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

8

1度の渡米で4科目1発合格！！

センスイ さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

9

日本にお住いの外国人の方も安心してTACを選んでくださいね！

程 成彦 さん FAR : 2回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

10

グローバル化が進む中で、USCPA に注目

T.O さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

11

13年越しの目標を TAC と共に達成

K.M さん FAR : 3回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

12

『継続は力なり』長い間応援してくれた人たちに心から感謝しています！

H.M さん FAR : 不明、BEC : 不明
REG : 不明、AUD : 不明

13

会計知識ゼロでも、ストレート合格できる！

古市 泰之 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

14

急がば回れ

T.O さん FAR : 3回目、BEC : 3回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

15

TAC のテキストで大きな木を描いて合格を！

M.O さん FAR : 2回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

16

あきらめずに1,000時間作ろう

Y.K さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

17

自分なりの学習方法が見つかります。TACと自分を信じて。

M.F さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 3回目

18

TAC で苦手科目を克服し、短期一発合格を達成！！

O.M さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

19

資格取得を宣言し、モチベーションを維持！！

Y.S さん FAR : 2回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 3回目

20

仲間を作って楽しくモチベーション維持

宮崎 一成 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

21

US CPA 試験から海外会計事務所へ

D.M さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

22

願いは叶う

Y.L さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

23

特に REG の内容が魅力的でした

Y.E さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

24

英語で会計知識を得られる資格として U.S.CPA を選択

高木 稚佳 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

25

8年越しの目標達成

匿名希望 さん FAR : 1回目、BEC : 3回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

26

TAC テキストを信じて、仕事中心生活のなか1年で合格

Y.H さん

FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

..27

継続は力なり

若井 正幸 さん

FAR : 2回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 3回目

..28

長いブランクの後の合格

吉原 アヤ子 さん

FAR : 不明、BEC : 不明
REG : 不明、AUD : 不明

..29

Becker との提携はもちろん、法律改正や新試験制度への対応の早さが TAC の魅力

小林 比呂武 さん

FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

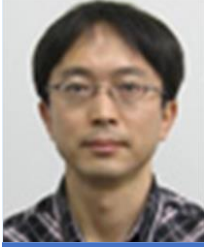
..30

学習スタートに年齢は関係無し！いつまでも、どんな国でも働けるように！

金子 登志江 さん

FAR : 2回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

..31



TACの先生のおかげさまで合格！

西田 喜一 さん

1966年12月生まれ
勤務先：メーカー

2011年11月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：77点（2010年10月／4回目）、BEC：78点（2011年11月／1回目）
REG：80点（2011年5月／5回目）、AUD：88点（2011年8月／4回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

会社勤めを20年程度していますが、その間マーケティングと部品の調達をやってきました。

それに会計の知識を新たに加えると、さらなる社内外でのキャリアアップにつながるという考えから勉強を始めました。

U.S.CPAという資格は、友人が取得していたので十数年前から知っていました。

全体を通してですが、講義を聞き終わった後、問題集とBeckerを3~4回転しました。

出来なかった問題のみを繰り返し解き、直前期にはできなかった問題・良問・パターン問題を徹底的にやりました。

また、新宿の質問コーナーや質問メール、TEL(通話無料)等のフォロー制度も最大限活用し分からないところをつぶしていきました。本当に講師の方々には感謝しております。

暗記ものは、ボイスレコーダーに自分で吹込みをし、通勤時間に繰り返し聞いて覚えました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級程度
英語知識：TOEIC®TEST 840点程度

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

ハワイで3~4回試験を受けましたが、時差に悩まされました。試験後ハワイを楽しもうという意図もあったのですが、試験に集中するには、グアムの方が断然オススメです。

グアムでは、スーパーで水や食料品を買い込み、数日前からホテルで集中して勉強しました。

また、私は家族の支えがあったからこそ合格ができたと思います。

休日と夜はほとんど勉強をしていましたので、家族の時間は少なくなっていましたし、ストレスも与えていたのではないかと思います。妻は家事を全てやってくれましたし、2人の娘たちは合格ポスターやお守りを作るなどして応援してくれました。

一科目EXPIREを迎えた時、試験をあきらめようと思ったこともありましたが、妻からの「もう1年やってみたら」という励ましの言葉もあり、また長女が中学受験の時期でもありましたので、自分も頑張ろうという気持ちを継続することが出来ました。

家族にも感謝しております。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

他校とも比較をしましたが、講師が質問にきっちり答えてくれなかったこともあり、私には雰囲気合いませんでした。

TACは先生が充実しているなという事と、八重洲校のスタッフの方に懇切丁寧に対応して頂きましたのでそれが決め手になりました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

1番は、先生の質問対応です。すべての先生に丁寧に対応していただき感謝しております。

試験の直前まで細かい質問にもがっつりご対応いただきました。

講義そのものもテストに合格する事にポイントを置いており、メリハリをつけて重要な論点を話されているところが良かったです。

AUDの帆足先生・田中先生には、実務でのイメージを与えて頂きましたので、記憶の定着がスムーズにできました。一見試験からは離れるようにも思われますが、講義に魅力がありましたので記憶の定着に役立ちました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

- ・通学
- ・3年強

（仕事の忙しさもあり、合格まで予定以上に時間を要してしまいましたが、WCの入念な対策と一科目ごと集中受験すればもう少し早く合格できたのではないかと考えています。）

学習はTAC八重洲校や図書館を利用しました。

いろいろな試験を学習している人がおり、勉強に集中できる雰囲気がありますのでこういった雰囲気を共有できるのは学校ならではのメリットだと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

経験上から言えることは、記憶とか理解が定着しづらいなと思っている方は1科目ずつの受験が有効だと思います。私も3科目受験をしたことがありますが、結果的には1科目しか受けることができませんでした。日本受験が始まっておりますので、1科目受験もし易いと思います。

直前ですと1週間前が非常に重要ですので、何をどうやるかというスケジュールを逆算して計画しておくのと良いと思います。またAICPAのリリース問題はしっかり解いておいた方が良いです。

余談ですが、試験会場でU.S.CPA受験者と他校のテキストを比較したことが何回かありますが、他校はテキスト部分が少なかったです。応用論点やSimulation問題の内容が薄いと思いますので、他人事ながらどうやって対応するのだろうと思ってしまいました。

そういう意味でも、TACは合格に十分な教材・カリキュラムになっておりますので、TACを信じて頑張っただけであればと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

FAR・BEC 計算問題が時間勝負ですので、パターン問題を繰り返し解きました。

AUDは講義を2回聞いて知識を定着させました。

REGは直前対策まとめが良くできていますので、これを繰り返し解きました。



モチベーションの維持×仲間×諦めないこと

小島 秀介 さん

1983年7月生まれ

勤務先：株式会社 三菱東京UFJ銀行

2011年11月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：77点（2011年11月／2回目）※1回目は合格後expire

BEC：79点（2010年11月／4回目）

REG：78点（2011年8月／2回目）

AUD：75点（2011年11月／5回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

もともと英語は好きでした。ただ英語ができる人はたくさんいますので、それに何か一つプラスしようということで、「英語＋会計」を意識するようになりました。

勤務先で一通り必須の資格を取得（証券外務員等）した後、上級の資格を取りたいと思い、いろいろな資格の吟味した結果「英語＋会計」を学習できるUSCPAを選択しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記3級程度

英語知識：TOEIC®TEST 500点程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

- ・会計士講座に歴史と実績があったため
- ・学歴審査、出願、受験、単位認定などの慣れない手続きのフォローが手厚かったため
- ・教室、DVD、WEBなど受講のコンテンツが自由に選べたため

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

- ・講師について
FAR：小泉先生「会計知識ゼロからでも、次第に理解を深められる講義でした。」 内田先生「直前対策まとめは、学習当初～試験直前まで重宝しました。」
BEC：渡辺先生「原価計算で使う機械的な解法のおかげで計算の時間が短縮できました。」
REG：内田先生「控除可否などを印象的な二モノックで憶える事ができました。」 杉浦先生「取っ付き難い法律の規定を、身近な事例で理解できました。」
AUD：乾先生「監査計画～監査報告の各段階で何を行うかを順序だっで理解できました。」
- ・教材について
私が受験している最中にFARの合併会計変更やIFRS導入など講義で習ったものの変更や追加が多くありましたが、追加の講義DVDを送って頂き、対策講座を設けるなど基準変更の多いUSCPA試験にも迅速に対応頂きました。
- ・講義のボリュームについて
適切なボリュームだと思います。講義のボリュームが多いと思われる方もいらっしゃると思いますが、これ以上少なくしてしまうと説明不足になってしまうと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

- ・通学+DVDでした。
- ・受講から3年半です。

Q6 合格までの学習法（一般的なこと／科目別）

- ・一般的なこと
インプットは、「自作のまとめノート」と「Simulation対策&総まとめ講義の教科書」
アウトプットは、「Becker Course DISC」のみです。
紙ベースの問題集は使用しませんでした。
洋書に手を出したこともありましたが、Beckerを極めれば十分でした！
- ・ROUTE99講義受講期
毎週土曜日の講義が終わったら、日曜日にまとめノートを作りました。（要点のみを自分の言葉でまとめたもの、USCPA講座は1年と長くボリュームも多いので、仮に1年後にもう一度復習した際、すぐに要点を思い出せるように作成しました。）
- ・試験準備期
「Becker Course DISC」の問題を解きました。その際、日付や簡単な手応えを記入した回答結果の管理表を作りました。（正解して次も間違ふ事はないので再度解く必要のない問題は○、正解した問題は○、偶然正解した問題は△、間違えた問題は×と間違えた選択支&理由を記録しました。）
Beckerは問題数が多いので、単純に全て2、3回転しているのでは時間が足りません。2回転目以降は、○、△、×の問題を解

き、3回転目は×、△のみと何度も間違える問題の理解を深めました。

また問題解説の中で、講義になかった論点があれば、直接自作ノートやSimulation対策の教科書に書き込み、インプットの際に合わせて暗記していました。

学習場所は、ノートパソコンを持ち歩きパソコンの使える広めの図書館を良く利用していました。

<科目別>

- ・FAR
範囲が広いので、深くまで掘り下げず、要点のみ憶えました。
ただNPAは20%と出題比率も多く、得点源になるので力を入れました。
- ・BEC
管理会計/ファイナンスは問題を解いて、公式を使った計算速度を上げたり、回答解説をじっくり読んで、理論を理解する事が重要でした。またITに関しては、予備知識がなかったので苦労しましたが、相關図など作って理解を深めました。（アナリスト、プログラマー、アドミニストレーターなどの役割や兼務可否など）
- ・REG
TAXは、Form1040などの申告書フォームを手書きして全体像を掴んだり、Basisについても表を作成し、色々な出題パターンを記憶しました。
- ・AUD
各段階の監査手続きをしっかりと理解することに尽きると思います。そのために、正解した問題でも解説をじっくり読み「正解以外の選択肢がなぜ間違いなのか？」を理解しました。AUDには計算問題がありません。計算問題のようにベストな答えがない文章問題では、いかにベターな選択支を選ぶかがとても重要です。
また、出題頻度の高い監査報告書でも表を作成し、「各意見の時には、どのパラグラフに何を記載して、説明区分は意見区分の前、後につけるか？」などまとめました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

- ・NTS（受験票）ですが、初回は2週間程度で取得でき2回目以降も早い時には1日で着くなどNTSについては特に問題なく手続きが進みました。
- ・受験は主にグアムでした。
席やホテルの予約手配は、全て韓国のツアー会社に依頼していたので非常に楽でした。
- ・グアム受験した際、会場（バンクオブハワイのビル）に着くと、ビルから人がぞろぞろ出てきました。試験時間も迫っていたので、気になる事なくビルに入ろうとすると職員の方に「いま火事の警報があったので、ビルには入れない、避難しなさい。」と言われ、近くの公園で30分程待機した事がありました。どうやらビルで小火騒ぎがあったようでした。
結果、試験に30分程遅刻しましたが、試験官の方も事情を知っていて、問題なく受験できました笑。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

- ・長い勉強生活の中でモチベーションの維持が重要だと思います。私はモチベーションが下がり気味になった時期があり、結果、全科目合格までに長い時間が掛かってしまいFARをExpireしてしまったりもしていました。受講を始めた時のような高いモチベーションを維持できれば、全科目合格までさほど時間は掛からないと思います。行き詰った時には「私はなぜUSCPAの勉強を始めたのか？」「合格したらどうしたいのか？」を思い起し、合格した自分をイメージして下さい。
- ・受験仲間を作って下さい。一斉の模試や答練ではなく、受験スケジュールも各自で決めるので、受講終了後は孤独な勉強生活になります。教室、試験会場などで仲間を作っておく事は重要です。受験手続や出題傾向の情報収集もできますし、何より、行き詰った際など、励まし合ったりできます。私もExpireした時や74点でダメだった時など、何度も心が折れそうになった時がありましたが、その方々の温かい言葉があり今に到る事ができました。

諦めなければ必ず合格できる試験です。

受験生活の中で、色々困難はありますが、それは必ず乗り越えられるものであるはずで、勉強を始めた当初に描いた合格した自分のイメージを実現させて下さい。



苦節4年目で掴んだ栄光

船越 寛 さん

1976年5月生まれ
慶應義塾大学 2001年卒業
勤務先：製造業で海外営業を担当

2011年10月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：79点（2011年10月／3回目）、BEC：78点（2010年4月／2回目）
REG：77点（2010年6月／3回目）、AUD：83点（2011年7月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

社会人になった時に、社会人にとっての3種の神器は「英語・会計・IT」という事を知りました。当時IT業界に勤めており、英語も少し勉強していましたが会計については触れたことがなかったので気になっていました。

現在の仕事では、業績や社内の話が管理会計を基に出る数字を使う事が多いので、簿記も勉強したいと思っており、どうせなら海外のビジネスとも関係のある資格を取りたいと考えて情報を集めているとUSCPAという資格にたどり着きました。

会計だけでなく、商法や税法、監査だとか海外の契約に関するビジネス全般についても勉強できそうだったので、学習を決めました。

日本の会計士に比べて合格率が高いという点もポイントでした。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：学習開始時：特になし

英語知識：TOEIC®TEST 学習開始時830点 → 合格後910点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACは資格の学校の大手というイメージがあります。

私は浪人をしていて大手の予備校に通っていましたが、大手はまず情報力や教材が違うということや合格者の数も多いという事を知っていましたので、安心感もありまず間違いのない教材で勉強ができるだろうという事でTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

教材・講師・Becker教材はみなさんがおっしゃっている通り本当に良かったです。

私がお他に良かったと思ったのは、5年間継続再受講制度というフォロー制度です。

合格まで3年半かかっていますので、入学した当時の教材は古くなってしまっていますが、このフォロー制度があったため試験を諦めることなく最新の教材を割引受講料で購入することができました。

私はIT業界にもいたことがあり、ソフトウェアの値段の感覚もわかりますので、この制度やBecker教材には本当に価値を感じます。

このレベルのソフトウェアを割引受講料で購入できましたので、TACで本当に良かったと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

・通学（教室・DVDフォロー）

基本は土曜日に渋谷校で講義を受け、休んでしまったときはDVDフォローで学習しました。

・合格までの学習期間は約3年半です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

モチベーションの維持が大変でした。

実力のある方も、勉強の継続ができなくて諦めてしまう方も多いと思います。

私の場合は、モチベーションを維持するためにU.S.CPAの学習内容は実際の仕事に役に立つという事を常にイメージしました。

例えば監査であれば普段は監査をされる側ですが、監査をする側の知識があれば気を付けるべきポイントが見えてきます。

法律であれば米国の法律は世界に通じるところがあるので、海外の契約関係の仕事に生かすことができます。

あとは、U.S.CPAの勉強をしていることを周りにも報告をしており、形にしなれば格好がつかない環境にありましたので、最後は気持ちで頑張りました。

<学習方法>

最初はインプットだけをして流し勉強をしていました。

1年経って、試験を受けてみたら想像以上に難しいことに気づいて本格的に勉強をしようと思ったのですが、ちょうどその頃に子供が生まれまして、勉強時間の確保ができなくなってしまいました。土日の時間が取れなくなってしまったので、朝方人間になることを決め、勉強時間を捻出することにしました。

結果的にはこの朝方人間になるということが大きな財産になっています。

夜は仕事後で疲れていて学習の効率が上がらないので、子どもと一緒に20時～21時くらいに寝てしまい、そして朝は2時くらいに起きることにしました。少し遅い時でも21時～22時くらいには寝て、3時～4時に起きてそれから朝の時間を集中して勉強に費やしました。

また、モバイルPCを購入し、いつでもどこにいてもパッと開いて1問でも良いので勉強できる環境も整えました。これにより子供と遊んでいても、通勤時間でもちょっとでも隙間時間ができれば勉強ができるようになり、非常に効率が良かったと思います。

最初の1年ちょよとのロスは取り戻せませんでした。その後この生活を続け2年程度で合格をすることができました。

全科目共通したのは、Beckerで解けなかった苦手なところを重点的に学習するという事で、できるところはそれ以上やりませんでした。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

TACの受験手続のHPが非常に親切だったので、問題なく手続きを行えました。

受験場所についてですが、私はグアムであれハワイであれアメリカで受けるのが良いと思っています。そう思う理由は、アメリカで受けるからこそ、この資格を受けている特別感を感じれますし、自己満足というか充実感を肌で感じモチベーションを維持することができると思うからです。

<失敗談>

受験手続に慣れた時の話ですが、試験を申し込んだ後、たまたま予約の確認をしていなかったことがありました。その後現地に行ってみると、なんと自分の名前が登録されていなかったという事がありました。

試験の為に渡米したわけですのでさすがにこの時は落ち込みましたが、申込みは確実にできていたという確信がありましたし、普段から海外営業で交渉をしておりますのでこの時も粘り強く交渉をしました。

結局、その場で受験をすることはできませんでしたが、特例処置として有効期限を伸ばしてもらうことはできました。

私の場合は本当に稀なケースですし、必ずしも交渉がうまく行くとはいえないと思いますので、これから受験される方は必ず予約確認はしていただければと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

時間のある方は自分のペースで学習をして頂ければと思うのですが、時間の無い方も多いかと思います。私も途中で子供が生まれてさらに学習の時間が取れなくなりました。

忙しいと言っていたらいつまでも勉強ができないので、自分のモチベーションを高く維持し、なんとか時間を捻出することが重要だと思います。

おすすめは、やはり朝方人間になるという事です。

人より使える時間が多くなりまして、朝は頭がスッキリして仕事後よりも効率が良いものです。忙しい方でも数時間のまとまった時間が取れるという事もおすすめ理由の1つです。

私の場合は、合格後も朝方人間の習慣が身につけておりますので、今は違う勉強をすることもできています。

あとは、時間の無い社会人の方は、モバイルPC等のいつでも勉強ができるツールを持っていると隙間時間も有効活用できると思います。

私は合格まで3年半かかっていますが、この試験は諦めなければ合格できる資格だと思います。合格した後は、本当にうれしいですし、何事にも代えられない達成感を得ることができました。

つらいこともあると思いますが、掴んだ栄光は一生ものですので、ぜひ頑張ってくださいと思います。



TAC・Beckerのみで短期一発合格

S.K さん

1985年12月生まれ
京都大学 法学部 2009年卒業

2011年11月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：84点（2011年8月／1回目）、BEC：83点（2011年8月／1回目）
REG：94点（2011年11月／1回目）、AUD：90点（2011年11月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

もともと営業職に就いていましたが、何か専門的な知識を身につけて転職しようと考えていました。日本の公認会計士試験も考えましたが、少しハードルが高く思えたため、また英語が好きだったため、U.S.CPA試験に挑戦することに決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：ありませんでした。
英語知識：TOEIC®TEST 940点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日本の公認会計士試験で実績があるということは知っていましたので、他と比べることもなくTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

学習開始時、会計知識は全くなかったのですが、DVDを一通り視聴（1.5倍速）したのみで容易に理解することができました。またTAC教材のみで高得点合格するのに十分な質・量となっていると感じました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信 / 11ヶ月

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

DVD通信にて2011年1月学習開始。2011年7月に退職してから学習に専念。2011年8月にFAR・BECに合格するまで、REG・AUDには一切手をつけず、DVD視聴もなし。

〈全般〉

- (1) DVD視聴
- (2) テキスト読解→TAC問題集（FAR・BEC：2回 / REG・AUD：3回）
- (3) テキスト読解→Becker紙ベース問題集（FAR・BEC：1回 / REG・AUD：3回）
（REGとAUDはSupplemental問題も合わせて全部解きました。）
- (4) Becker PC演習（FAR・BEC：1回 / REG・AUD：simulationのみ）

Simulation問題を一通りこなした段階でTAC直前対策講義を視聴しました。

(5) Becker PC模擬テスト（全科目：1回分のみ、2回分はsimulationのみ）

〈REG〉

TAX問題演習時、常に内田先生のまとめノートを見ながら解いていました。問題演習を繰り返す中で、いつのまにかまとめノートの内容を暗記することができていました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

FAR本試験では、時間配分を完全に失敗し、Simulation問題の約半分が空欄の状態ですべて時間切れとなりました。受験直後は、完全に落ちてしまったと思いましたが、結果は合格でした。反対に一番自信があったBECは4科目中最低点での合格でした。自身の手応えが全くあてにならない試験であると感じました。

またFAR・BECはハワイにて、REG・TAXはニューヨークにて受験しましたが、受験後に観光を楽しむことができました。受験後の観光もU.S.CPAの魅力だと感じています。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

TACの教材のみで合格に十分ですので、他の教材には手を出さずTACを信じて学習に取り組むのが得策だと思います。FARはとにかく時間制限が厳しかったのでPCでの演習をもっと徹底的に取り組めばよかったと思いました。



最後の1分まであきらめない気持ちが大切！！

伊東 敬 さん

1973年11月生まれ
東京大学 法学部 卒業
勤務先：銀行員
証券アナリスト

2011年11月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：77点（2011年1月／2回目）、BEC：82点（2010年11月／2回目）
REG：86点（2010年11月／2回目）、AUD：75点（2011年11月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

2007年、会社の選考に受かりミシガン大学にMBA留学をしました。そこでマーケティングを選択、基礎項目の会計に触れたことが1つのきっかけです。

TACでは留学前に証券アナリストを受講していました。会計の知識は多少はありましたが、財務分析のような形だったので、基礎という意味ではMBAで初めて会計に触れました。

マーケティングでも会計の知識が求められる為、もう少し会計を学びたいという事と、英語も活かしたいという考えから帰国後USCPAの学習を決めました。

日本の会計士に比べて、合格率が高いという事と、科目合格がある為働きながらも合格を目指すという事も決め手になりました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：証券アナリストの財務分析程度の知識。

どちらかと言うと、財務諸表を見てどう判断するかの知識はあったが、財務諸表をどう作るかの知識はUSCPAを始めてから詳しく学びました。

英語知識：20代半ば：大学受験後ほとんど英語に触れることがなかった。TOEIC560点程度。

～30才前後：会社のMBA選考に受かる為、英語を学習。TOEIC900点程度。

USCPA学習時には、英語力は問題なかったと思います。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

証券アナリストの時にTACにお世話になり、その時の教材や講義が良く、証券アナリストにも問題なく合格できたのでUSCPAもTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

教材はTACとBeckerしか使いませんでした。これだけで十分合格を狙えます。

特にレギュレーションが素晴らしかった。教材にはまとめもあるので時間の無い社会人にはありがたかった。試験合格に十分な内容が練りこまれているので他の教材に浮気をせず、分からない箇所や理解できていない論点があればテキストに戻って復習をし、Becker問題を繰り返し解くことが重要だと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学DVD（八重洲校）で学習。通信だと溜まって学習しなくなってしまうと思ったから。

基本的には平日夜、会社帰りにDVDを見ようと思っていましたが、仕事が忙しくなってしまうことや、体調不良、結婚の準備などで思うように学習が進まなかったことも多かった。

<学習エピソード 学習開始～科目合格>

USCPAの学習はアメリカから帰ってきて2008年の11月ごろから始めました。

2009年3月ごろ体調を崩してしまい3ヶ月ほど会社を休んでしまった事や結婚の準備もあり2009年の9月ごろまでは全く勉強ができませんでした。

なかなか思うようにいかず、通学DVDの受講期限も迫っており焦りましたが、あきらめなくなかったので残り3ヶ月ほどで残りのDVDを全て見て、インプットは何とか受講期限何に終わることができました。

既にNTSは4科目分取得していて、春ごろ受験の予定でしたが、この頃急に仕事が忙しくなってしまう2010年3月くらいまで全く勉強ができませんでした。

NTSの期限が切れてしまうので、もったいないのでハワイで力試しの為受験だけはすることにしました。結果的には全科目ダメでしたが、BECとREGは70点台だったので、もう少し時間が取ればいけるなという感触を得られました。

6月ごろグアムのトランスファー要件が変わり、後付での単位取得が認められなくなったので、あわててグアムのCertificate要件の為、BUの試験で会計科目を取りました。

今思うと、これが知識の確認に非常に役に立ったと思います。

<受験エピソード 科目合格～全科目合格>

NYで、2010年11月にBECとREGを受験し合格。

その後また仕事が忙しくなってしまう、学習が難しくなってしまうが、またNTSの期限が切れてしまう為、強行日程で2011年1月末にハワイで受験しました。

金曜日の夜に出発し、到着後その日にAUDを受験、次の日にFARを受験しました。

感想ですが、どうしても試験中に眠くなってしまったので、やはり体調を整えて受験した方が良いと確信しました。AUDは監査自体の業務にかかわることが実際ないので、イメージを掴むのが非常に難しかったです。FARはなんとか合格することができました。

残り1科目になりましたので、時間を取って、2011年11月に受験することを決めてNTSを取りました。2011年11月にNYでAUDを受験し合格しました。最後の受験なので、妻を連れてNYで受験しました。

AUDは、予習した時に間違えて「ここは出たら嫌だな」という箇所が3回くらい繰り返してしまいました。もっとしっかり覚えておけば良かったなという点と、残り1科目になって余裕が出たせいで、他の科目より準備に少し手を抜いてしまった点が反省点です。

試験中はやることをやるしかないという事で最後まであきらめず頑張りました。

リサーチ問題の1つが、いろいろな単語を入れても全然ヒットしなく、最後までなかなか見つからなかったのですが、最後の3分くらいでやっと見つかりました。残り1分くらいで入力が終わってベストを尽くしました。

結果的には75点で合格でしたので、最後のリサーチ問題の1点が効いたと思います。

改めて最後まであきらめたいはいけないと実感しました。

今までいろいろな試験を受けてきましたが、今までは試験に集中できる状態だったので特に感じませんでしたが、今回は学習できることのありがたさを本当に実感しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

TACのテキストをしっかりとやることで十分合格できます。

あまり手を広げない方が良いと思います。

あとはBeckerの問題を繰り返し解くことによって知識を自分のものにすれば良いと思います。学習の方法としては、レギュレーション以外も時間があればまとめノートを作った方が良いと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続は特にハプニングもなくスムーズに進みました。

受験時のエピソードとしては、やはりAUDの試験で実感しましたが、最後まであきらめない気持ちが大切という事です。残り1分のリサーチ問題をあきらめなかったで合格できたと思います。

私の場合は4科目のNTSを一度に取得してしまったので、いつもNTSの期限切れに追われていましたが、そうしないといつまでもドラダラ時間が過ぎてしまうので、早め早めにNTSは取得した方が良いと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

受かった後は今までの頑張りが報われ、本当にうれしいですし、やって良かったと心から思えます。海外の試験に苦労しながら受かるというのは非常に貴重な経験です。時間と計画を立てて学習をすれば合格ができる試験だと思いますので、皆様にはあきらめないで頑張ってくださいと思います。



自分らしさを大切に。

S.B さん

1969年5月生まれ
東洋大学 経営学部経営学科 1992年度卒業
勤務先：財団法人
英文経理経験9年、国内経理経験5年

2011年11月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：80点（2011年11月／3回目←2009年11月／2回目←Expired）
BEC：76点（2010年7月／3回目）
REG：75点（2010年5月／3回目）
AUD：90点（2011年8月／7回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

新卒で入社した音楽制作会社で音楽ビジネスについての本を読んだことです。その本は米国人のUSCPAホルダーによるものでした。当時は経営企画室勤務でしたが、会計の知識があれば仕事の幅が広がると考えました。

10年前、日系企業で英文会計の仕事を始めたのと同時に英文会計の勉強を他校で始めましたが、資金が無く、USCPAの勉強までには届きませんでした。

6年前、外資系企業に転職をしてからTACで勉強を始めましたが、追加単位の半分を取得したところで仕事が忙しくなり勉強から離れました。

3年前に退職し、勉強を再開しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 755点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

先にTACで学習しUSCPAを取得した友人の勧めです。Beckerの良さもその理由でした。

また、これまでに会った日本のCPAも殆どTAC出身の方たちでした。

会計を学ぶのであればTACしかないと思っていました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

一般的に講師の方たちが素晴らしかったです。特に以前講師をされていた小森谷先生のスマートさに感動し、エネルギッシュな内田先生も印象に残りました。本試験中も先生方の声が思い出されました。また、内田先生の直前対策まとめにはとても助けられました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信です。

6年前に始めて約半年で必要追加単位の半分を取得し、その後は仕事が忙しく勉強から離れました。

3年前に再開してから約3年かかりました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

4科目ともTACのテキストと問題集中心の学習です。Becker実践トレーニングも一度は解きました。FARは苦手な問題をノートに書き出し、REGは苦手なBLのまとめノートを作り対応しました。ですが、AUDには苦戦しました。AUDについてはテキストのまとめノートを作成することにかなりの時間を費やしました。

また、他の優秀な方々の勉強法やエピソードを見てあせることはやめました。自分は自分、という割り切りも必要と考えました。目の前の一問と向き合うことが、合格に結びつくだと自分に言い聞かせました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続に関してはあまり問題なく、スムーズに出来ました。

2009年8月の最初の受験から2011年の2月まではハワイで受験したのですが、会場がとても寒く、凍えるようでした。2011年8月と11月は日本受験でしたので、快適でした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

ご覧の通り、私のUSCPAの勉強は決して順調なものではありませんでした。勉強には体力と、資金も重要になってきます。仕事を続ける中で、どうしても優先順位を付けざるを得ない時もありました。

ですが、今はやり遂げてとても良かったと思っています。結果も勿論大切ですが、結果を出すまでの3年間、自分自身を見つめ、色々な‘気づき’を得ることが出来ました。この経験から、それまでの価値観が大きく変わったと思います。

また、取得できたのは家族や、勤務先の上司や同僚など、周囲の協力があつたからであり、感謝する気持ち一杯になりました。

この結果を出すことが出来たことは、これから先、生きていく上で自分自身を信じさせてくれるものになったと思います。きっと将来振り返ったときに、この3年間をととても貴重なものに感じることでしょう。

皆さんもあきらめず、自分自身を信じて、貴重な体験を通して、より素敵な人になってください！



ROUTE99 - YES WE CAN !!

織井 廷旭 さん

1981年11月生まれ
ウェスタンオレゴン州立大学 会計学専攻 2007年卒業
勤務先：外資系メーカーにて
Financial Controllerとして従事

2011年11月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：79点（2011年2月／1回目）、BEC：82点（2011年11月／3回目）
REG：76点（2011年5月／1回目）、AUD：87点（2011年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

アメリカの大学で会計学専攻であったため、必然的に将来的にはこの資格を取ることを決めておりました。また帰国後、外資系企業で財務・経理職であるコントローラーをしておりますので、USCPA知識は必須で取る環境に置かれておりました。

USCPAは会計学以外にも幅広くビジネス全般スキルを磨きあげる手助けをしてくれる資格でもあり、このグローバル化した環境では今後必然と考えておりました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：大学が会計学専攻、実務レベルでも会計知識はありました。
英語知識：TOEIC®TEST 900程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

実際に予備校へ通う決意をした際にいくつかのUSCPA説明会へ参加し、各校のメリット&デメリットを把握し、TACを迷わず選びました。理由としては、説明会にてズラッと並んでいたテキストの山、講義数、BECKERの使用可能、多くの通学コース数にあります。これらの要素は他校の数倍網羅したカリキュラムであると分かり、TACでやれば必ず合格できると確信しました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

基本的にROUTE99 USCPA講座は素晴らしいです、TACは合格への最短近道であると思います。

中でもFAR公会計とREG税法の内田先生の極限までにまとめられた講義内容には驚き、直前対策まとめは、試験ポイントがざっくりまとめられており、大変重宝しました。REG合格は講義終了後1カ月で合格し、内田先生の素晴らしい講義のおかげであると確信しています。

またAUD監査の帆足先生の講義は大変分かりやすく、自分の中で監査手順がすんなり入ることができました。

また何といたってもBECKERがプラスで付いてくることは大変魅力的でした。アメリカのCPA学生の中でも8割がたBECKERを使用している受験生が多いと聞いております。

BECKERはほど良いMC数でSimulation問題も質が高く、素晴らしい教材でした。

またTACは新試験教材の対応が他校よりも一番早く、網羅性があった点では大変信頼があり、安心して勉強に打ち込みました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

基本は通学で全て学習しましたが、仕事の都合上DVD通信を利用したこともありました。

合格までの学習時間は2010年夏入学のため、1年4カ月となります。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

平日は朝・夜通勤で計2時間、帰宅後最低2時間で平均4時間。週末はTACで10時間以上やりました。

学習方法としては基本的に全ての科目、毎週講義を2コマ受け、翌週の講義までに前回の復習をTAC問題集で行い、常に同時進行でまとめノートをEXCELで隔々まで細かい論点まで作成してBECKERに入る前までに頭に叩き込みました。

各セクションの講義が終わると共にBECKERに入り、最低2周はしました。（それぞれの科目は上記のやり方で対応）

FAR：財務会計は実務上知識があったため、最後の上級レベルまで問題なく進めていくことができ、TAC問題集とBECKERをそれぞれ1回転・間違った問題を理解するまでやりました。基本的にTAC問題集及びBECKERで十分合格可能でした。

REG：税法と商法は基本的に暗記要素が多かったため、自分の得意

分野でもあり苦労は科目の中でも一番少なかったと思います。TAX講義と同時進行で内田先生の厳選問題集を何度も分かるまで進め、BLに関しては法律科目でもあるため何ページにもなるまとめノートの作成に徹底し、書きながら自然と理解しました。REGに関しては、ほとんどBECKERは手を付けませんでした。

AUD：この科目は最も英語の理解力が試されると思いましたので、他科目のように問題の流し読みを極力やらずにしっかりと読むことを心がけました。また重要なのは監査手順を隔々まで理解することだと思ひまして、実際の公認会計士の方からアドバイスを頂いたり、監査や内部統制に関する本を数冊読み、理解度を上げました。またこの科目もまとめノート作成に徹底し、TAC問題集を1回転、BECKERを2回転しました。以上の学習法で難易度高いFinal examでも90%以上いきました。

BEC：BECは飛び抜けて一番苦労した科目でした。新試験になり、Corporate governanceやOperation managementが導入され難易度が大変上がった科目だと思います。本試験も2度落ち、対応には苦労しました。BEC以外はTAC教材とBECKER以外は使用しませんでした。BECに関してはTAC教材も大変素晴らしかったですが、プラスアルファで洋書の問題集やSOX法やCOSOに関する本も読みました。その結果、ほぼ全ての洋書の良いところを全て吸収し3度目の正直で合格しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続に関しては、特に問題なくワシントン州にオンライン申請できたと思います。大学の成績証明書の直接送付依頼はWESから返信がなかったため、何度も連絡し急かして対応して頂きました。

受験時のエピソードですが、最初のFAR受験をポートランドに受けに行った時の話です。初めての試験で大変緊張した中、早朝にテストセンターに着いて何やら怪しい雰囲気の中、試験ルームに入るのを3時間も待たされ、最終的には本日はUniform CPA examのサーバーが落ちて試験が受けられないと言われ、紙一枚を渡され試験日の再予約を電話のみでやってくれと言われ帰されました。日本帰国も数日に控え、数日しかない日程でのハブニングでして、週末及び翌日アメリカは祝日であったため、NASBAは電話に出ず、どうしたらいいかわからず、緊張の中数日待ち、電話で再予約の連絡がようやく取れましたが、ポートランド試験場は数日間空きがなく、シアトルであればあるとのことでシアトルまでレンタカーで雪の中向かい、無事試験を受けることが出来たという初回受験にして凄いなハブニングを体験してしまいました。帰国後はここまでして結果が出なかったらと恐ろしく思いましたが、無事FAR合格できました。

上記のような苦労も含めて、USCPAの合格の価値はあると思います。海外受験を希望される受験生の方の多くはハブニングもあると思いますが、それを乗り越えた時はより一倍自分にとって価値のあるものとなると思いますので前向きに頑張ってください。

また1つおすすめできることは初めての受験地で本試験を受ける場合は、前日に必ずタクシー等でテストセンターまで一度行くことをおすすめします。理由としては、やはり当日に試験以外のハブニングのリスクは最低限に抑え、試験まで集中できる環境を作ることだと思います。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPA試験はやはり自分がやったら、やった分だけ結果として出る試験だと思います。必ず合格してやる！という強い意志と継続した努力を維持することができれば、合格可能ではないでしょうか。またタイムマネジメントが合格のキーになると思いますので、限られた1年6カ月の中での全科目合格を目指すには、1科目試験にするか、2科目または全科目同時試験にするかなど、自分の中でのプランニングを実際に予定通りに実行を心がける必要があると思います。

私から言えることはTACプラスBECKERのマテリアルが一番近い短期合格を勝ち取れることだと思いますので信じて頑張ってください。教材量は他校の何倍もありますが網羅しています、短期合格を目指すならば「急がば回れ」ですね。



忙しい社会人は予備校の徹底活用を

西村 隆 さん

1965年9月生まれ
一橋大学 大学院卒
勤務先：損害保険会社
ITに係わる法務が専門

2011年11月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：86点（2011年11月／1回目）、BEC：87点（2010年8月／1回目）
REG：78点（2011年1月／1回目）、AUD：85点（2011年8月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

IT企画部というIT投資を企画・管理する部署で、財務会計、管理会計、税務と係わりがあり、本格的に勉強したかった。英語の勉強にもなり、国際標準であるUS GAAPとIFRSを学べることから、US CPAの受験を考えていたが、MAINE州の学歴要件緩和を知って決断した。

実務では、システムの資産化や減価償却についての論議が社内で行われているがそういった部分で学習した知識がすでに役に立っている。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEICで30代前半に一度810点をとったことがあるが、暫く受けていないので現在の実力は不明。大学4年の頃に簿記二級をとったが、工業簿記は完全に忘れていた。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACは予備校大手であり、評判と実績、通学に便利で、自習室を利用できること等から選択したが、正解であった。長年の実績からノウハウが蓄積されており、教材も大変充実している。初めてBECを受験したとき、TACで与えられた教材を完全にこなせば、まず合格は間違いないであろうと感じ、その後は到達点が明確になったことからモチベーションの維持にもつながった。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師は本試験をよく研究しており、十分な準備をしていることが伝わる充実した内容の講義は大変役に立った。教材は程よい分量で、通読にも辞書的にも用いることができ、また、アップデートも頻繁で最新の内容を分かりやすく解説している。

TACテキスト+TAC問題集+直対テキスト+AICPAリリース問題を繰り返し解いてマスターすれば必ず合格できると確信している（私は時間の関係で、Beckerはテキストも問題も全くできなかったが、ちゃんと合格できた）。カリキュラムは、複数のコースが並行しており、いつでも申し込める点良かった。さらに直前対策講座が設けられている点も大変助かった（あの膨大な範囲をよくあれだけコンパクトにまとめられるものだと感心する）。

フォロー制度としては、自習室も使用できるし、受講生情報サイトが充実していて非常に役に立った。個人では調べきれない試験情報が凝縮されているので、このサイトがあれば受験手続も迷うことなく行える。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

FARと直対3科目は通信、他は新宿校へ週1回通学した。本格的に勉強を開始してからは、大よそ平日1.5~2時間、週末は5時間×2日の勉強を約1年半続けたが、全く勉強できない日も多かった。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

週1回の講義はできるだけ休まず出席したが、予習・復習はあまりできなかった。また、Beckerには全く手が回らず、専らTAC教材

をマスターすることに専念した。

基本的に3カ月毎に、1科目ずつ受験し、①TACテキストの練習問題を解きつつ読み、次に②TAC問題集を解いてから、③直対テキスト（BEC除く）の問題を解きつつ読み、仕上げに④AICPAリリース問題（5~6年分）を解くことを各科目とも3回ずつ繰り返した。

2回目に問題を解く際に、どうしても苦手ですぐ忘れてしまう部分のみノートに纏めるようにしていたが、これが直前に大いに役立った。また、すき間時間に直対テキストを何度も読み込み、毎回、最後は試験に向かう途中の成田エクスプレス→空港→機内（大よそ6時間）で1冊読み終えられるまでになった。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受講生サイトやガイダンスで、受験手続等について、極めてきめ細かく充実した情報を得られるため、ほとんど苦勞することはなく、おかげで勉強に専念できた。メイン州へ出願するための公証も、フォロー制度が充実しているため、迷うことなく行えた。

法改正や制度改正にも迅速に対応いただけ、大変安心であった。

また、テストセンターのスタッフを始めグアムの方は皆親切で、困ることはほとんどなかった。グアムでは赤いシャトルバスが頻繁に運行されており、テストセンターへ行くのにも結構便利なのであるが、バス停がないのにもかかわらずバンク・オブ・ハワイの前で止まって下ろして貰えたこともあり感激した。タクシーを予約される方もいらっしゃると思うが、早朝や夜以外であればシャトルバスも良いと思う。

飛行機は早朝便がコンディションを整えるためにお勧めである。ホテルは試験会場に近く、繁華街からやや離れて車や飛行機の音がせず静かなシェラトンまたはヒルトンがお勧めである（ビジネスセンターも充実している）。それからテストセンターへは、傘とチョコレート等のお菓子またはゼリー飲料などを持って行くといい（試験後は大変空腹になるが、アガニア・ショッピングセンターまで行かないと、周りには観光客が入れるようなレストランは全く見当たらない）。

トラブルとしては、1回目のAUDの試験の際、SIMを1問解いたところで、疲労からか誤ってEXITボタンを押してしまい（矢印が右を向いている）、そのまま確認画面を経て試験終了となり、渡航費用12万円と3カ月をふいにしてしまった（スコアを見るとMCは85%できており本当に悔やまれた）。PC操作にはくれぐれも注意されたい。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

CPA試験は、財務・管理会計や監査だけでなく、ITや経済、会社法、商事法、税法、ファイナンス等非常に幅広い分野のベーシックな部分が詰まっており、これらを英語で勉強できるという、経理畑でない方にも非常にお勧めの資格である。また、日本の難関資格のように、合格率が異常に低いということもないので、年齢に関係なく（社会経験の豊富な社会人の方が理解が早いと思われる）、正しいやり方で、熱意をもって最後までやり通せば、必ず合格することができる試験であると思う。また、合格はお金で買えないが、情報はお金で買うことができるので、忙しい社会人は、あまりけちらずに、予備校を積極的に活用して、効率よく勉強すべきと思う。TACは間違いなく強力な味方になってくれる。



1度の渡米で4科目1発合格！！

センスイ さん

1977年9月生まれ
東京大学大学院 経済学研究科 2006年3月卒

2011年10月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：87点（2011年10月／1回目）、BEC：83点（2011年10月／1回目）
REG：79点（2011年10月／1回目）、AUD：94点（2011年10月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

私は日系の商社で経理を担当しています。経理が大好きで、国際会計に興味がありますので、将来はグローバル経理の実力者になりたいという思いと、こういう環境で語学力も活かして、今後のキャリアにもつながる資格を取ろうと思い、USCPAにチャレンジすることを決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識ですが、経理を始めた段階では日商簿記の知識はなかったので、働きながら日商簿記をまず勉強し、その後USCPAの勉強を開始しました。

英語力は、TOEFL 613点でした。

来日のきっかけなのですが、もともとは中国の大学で経済を学習していたのですが、外国の視点から世界経済を見たいという思いがあり、留学することにしました。

また、英語はある程度できたので、3カ国語できれば自分の強みにつながると思い日本の大学院に決めました。

もうすぐ来日10年になりますが、日本に来た当初は日本語は全然話せませんでしたので、日本語学校に通って日本語も覚ええました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACは私学の学校でとても有名です。池袋のガイダンスに出席をして担当者の話が分かり易かったということと、インターネット等で調べても信用できる学校と分かったのでTACにしました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

教材は合格に十分な内容です。講義も非常に充実しています。講義を受けた後、ベッカーの問題集を繰り返し解くことにより合格の実力が身に付きました。紙ベースの問題は最低2回転は必要だと思います。その後PCで1回転しました。

講師として印象に残っている先生は3名います。

まずはFAR1を担当して頂いた草野先生です。講義の中でも例えば話が面白く学習が楽しかったです。FARの全体像の話がものすごく分かり易かったです。

2人目はTAXの内田先生です。内田先生は日米の税制について細かく理解をされているため、例え話も多く本当に分かり易かったです。また、内田先生のまとめ教材があればそれだけで合格までいけるのではないかと思います。完成度の高い教材でした。

良く体験記でも内田先生の話が出てきますが、実際に講義を受けてみてやはり内田先生はすごいと思いました。内田先生がいなければ、もっと合格に苦労したと思います。

3人目はAUDの田中先生です。

田中先生も説明が非常に分かり易く、実務でもたくさんの経験をお持ちの先生ですのでお話しも非常に面白かったです。4科目の中でAUDが一番点数が高かったのですが、これも田中先生のおかげだと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

仕事をしながらの学習だったので通信DVD講座を選択しました。

2010年4月に入学をして、1年間インプットをし、その後半年間アウトプットをして受験をしました。場所はグアム受験で1週間で4科目を受験しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

仕事をしながらの勉強でしたので、平日の時間があまり取れませんでした。

それでもなんとか平日に時間を捻出して、1日1時間は勉強するようにしました。

家に帰ってとりあえずお風呂に入って、気分をリフレッシュさせてから1時間勉強するようにしました。土日は可能な限り勉強をしました。

土日ですが、DVDを見たらすぐにその範囲の問題を解いた方が良いと思います。問題を解くことによって理解も深まりました。そして全ての範囲が終わったらベッカーを繰り返し解き、自分が間違えたところをメモしておくのが重要です。

理解の詰めが甘いところや勘違いをしていた箇所は特に重点的にメモをしておきました。

そして試験の前にそういったメモを見直すことによって細かい論点を覚ええました。

私の場合は、4科目を1週間で受けましたので、合格レベルの知識をキープするのが大変でした。ベッカーの4択問題100問を毎週各科目解くことによって合格レベルの知識をキープしました。その際は80%以上は解けるように気を付けて学習をしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

最初は日本受験ができるかもしれないということで、受験を待っていましたが、詳細が発表されるとメイン州は日本受験が出来ないという事が分かりましたので、グアムで受験することになりました。

受験時のエピソードとしては、こんなハプニングがありました。

私はグアムの7番のPCを使用していたのですが、しばらく問題を解いているとPCにエラーという表示が出てきました。係りの人にお話をすると一旦廊下に出されました。その間に係りの人が直してくれたのですが、問題を解き直すと、再度エラーメッセージが出てきてリスタートしますという文言が出てきました。そこで、私は係りの人に違うPCでの受験を提案し、受け入れてもらい違うPCで受験するというハプニングがありました。

何が言いたいかと言いますと、疑問点や不具合がありましたら積極的にどんどん交渉しようという事です。異国の地なので言いにくい気持ちもあると思いますが、自分の試験ですので、遠慮せずに交渉することが大切です。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPAに合格するためには努力と継続力が必要です。準備は大変だと思いますが、合格すれば良い思い出になりますので、皆さんもぜひ夢に向かって頑張ってくださいと思います。



日本にお住いの外国人の方も安心して TAC を選んでくださいね！

程 成彦 さん

早稲田大学大学院 会計研究科 在籍
出身地：中国

2011年10月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：79点（2011年5月／2回目）、BEC：78点（2010年10月／1回目）
REG：82点（2011年10月／1回目）、AUD：80点（2011年5月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

大学院に入学したら、周囲に日本の会計士を目指す同級生が多かったので、会計を勉強することにしました。自分の国籍や会計レベルを考え、在学中合格を目指せるUSCPAにしました。就職活動にも使いたかった。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 970点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

簿記2級を勉強した時にお世話になったから
Becker教材を使用したかったから

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

- ・内田先生の授業がすごく分かり易くて、細かい論点も網羅していてよかった。
- ・Beckerの実践トレーニング集やTACのテキスト、効率的なカリキュラムも良かった。
- ・講座のフォローが充実していた。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信 1年3ヶ月

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

各科目共通

- (1) 問題集（Becker）に60%、講義に40%の力を注ぎました。
- (2) 試験前にAICPAリリース問題を直近3年分やりました。

科目別

FAR：唯一Beckerの問題集をやらずに試験に臨みましたが1回目はFAILしてしまいました。英語の勘定科目に慣れて、問題数をこなせばこの科目は大丈夫だと思います。

BEC：管理会計の部分は日本の会計基礎のある方はとっつきやすいと思います。大学院で英語の管理会計の講義を取っていたので、自然に頭に入りました。IT部分は割り切って暗記だと思います。

AUD：コツは「性格の悪い人になること」でしょうか(笑)この監査がなければ、どんな不正がおこりやすいかを考えて解くことが重要だと思います。

REG：一番ボリュームがあると感じた科目でした。税法ではまず大事なBASISの考えを身に付け、個人の所得税の基本をしっかりと勉強しました。理解が大事なものはもちろん、細かい税法処理も暗記しなければならないので、日常生活に当てはめて理解をしました。

例えば、婚約段階で送ったダイヤの指輪は課税されますが、結婚後に送ったダイヤの指輪は課税されない等、自分がもしアメリカで生活したら、そういう節税もできるんだなと想像しながら授業を受けました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続ですが、中国の大学は英語訳の成績証明書を発行してくれなかったため、自分で英訳したものを大学で承認してもらわなければなりません。しかも郵送では受付をしてくれないので、本人か知人が直接行かなければならなかったため、非常に大変でした。

受験での思い出は、ハロウィンの時期にいったため、Guam試験センターがハロウィンっぽくデコレーションされていました。女性職員のアクセサリもハロウィンっぽくなっていたり遊び心があって、試験直前の緊張感が和らげられました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPAを目指す方は、常に向上心を持っている方だと思います。ゴールを目指して、試験合格まで一生懸命努力することも大事ですが、そのプロセスも大事です。授業で、何か日米の差異に感じることや、おもしろいと思う事もきっと大事です。

在日外国人でも安心してTACを選んでくださいね！欧米圏はもちろん、非欧米の方でも日本在住3年以上であれば語学的な面でも私は大丈夫だと思います。

資格を取るのがゴールではなく、取ってからがスタートです。

皆さん、ぜひ早期合格を目指してがんばってくださいね！

グローバル化が進む中で、USCPA に注目



T.O さん

慶應義塾大学 商学部 1998年3月卒業
勤務先：建設会社

2011年10月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：82点（2011年4月／1回目）、BEC：79点（2010年7月／1回目）
REG：86点（2011年10月／2回目）、AUD：83点（2011年7月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

海外赴任時、現地の弁護士・会計士との打ち合わせに参加した際、内容がほとんど理解できず、「英語と経理の勉強をしなければ!」、と思ったのがきっかけです。英語と経理の両方の知識を得ることができるUSCPAに注目しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：建設業経理事務士1級
英語知識：TOEIC®TEST 700点程

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACは、他資格の勉強の際、テキストが分かりやすかったことから選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講義で特に役立ったのは、日本人にはなじみの薄いREGのTAXとFARの政府会計（どちらも内田先生の講義）です。

Beckerのテキストは、苦手分野や理解の浅い箇所を中心に参考書として活用できました。

2008年冬に申し込み、実際に受験したのは、2010～11年だったので、REGのテキストや、Becker問題集の最新版を、低価格で入手できたので助かりました（5年間継続再受講制度を利用）。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信（DVD）講座を受講しました。DVDを2倍速で見て、時間短縮できました。

学習期間は、2010年4月に実際に勉強を始め、2011年10月まで、約1年半でした。

平日は、平均1～2時間、土日は、平均3～5時間、勉強しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

テキストを読解→テキスト内の問題を解く→BeckerのMCを解く→間違った問題は、テキストに戻って、確認→Simulationテキストを読解→Simulation問題を解く→BeckerのCD内の問題を解く→間違った問題を解く（全問題を解けるまで）、というサイクルで全科目を勉強しました。

REG(TAX)の「直前対策まとめ」を参考に、各科目とも自分なりの「まとめ集」を作成し、時間がある時（電車の中など）や直前期にひたすら読んで覚えました。

TACとBeckerのテキスト・問題集で、試験対策は十分であり、市販されている洋書テキストなど、他の教材には手を出すことなく、合格できました。Beckerの問題集の方が、本試験・過去問より難しい印象です。

新試験制度(2011年)になり、細かい論点まで問うようになった印象があります。但し、TAC・Beckerテキストに記載がない細かい問題は、他の受験者も出来ないという割り切りも必要と思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

学歴審査、国際送金、アメリカ大使館での公証手続など、初めてのことだらけでしたが、TACのガイドは分かりやすかったので、助かりました。NTSの名前間違いや未到着があり、メールや郵便を再送するなどした後、2～3週間経って、やっと届いたと、ということもありました。

テストセンターのスタッフは、とても感じが良く、英語もゆっくり喋ってくれて、分かりやすいので、その点は心配いりません。

グアムのテストセンターは、中国・韓国人も多く、人気がある資格なのだ、と感じました。

一度、観光兼ねて、ハワイで受けるのもお勧めです（2010年7月BECをハワイで受験）。

試験前日は、ホテルに引きこもり、夕飯もファーストフードで済まし、ずっと最後の詰め込みをしていました。試験後は、海辺を散歩したり、特大ステーキやビュッフェを食べて、気分転換をしました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

勉強すれば、した分だけ結果が返ってくるテストだと思います。

全科目合格した達成感は、言葉にできないものがあります。ますますグローバル化が進む中、自分に投資し、一つでも武器となるものを持っていると、将来、チャンスが増えてくると思います。上記の経験が、皆様のお役に立つことが出来れば、幸いです。

13年越しの目標を TAC と共に達成



K.M さん

1968年生まれ
慶応義塾大学 経済学部卒
勤務先：大学卒業以来、ほぼ一貫して日系、
外資系の会社の経理部門に所属

2011年8月 USCPA試験合格（ニューパンプシャー州）
FAR：76点（2011年8月／3回目）、BEC：78点（2010年11月／1回目）
REG：80点（2011年5月／1回目）、AUD：78点（2011年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

13年前に他の予備校に通い、USCPAを目指しましたが、1科目も合格する事ができず、途中で辞めてしまいました。その後も一貫して経理の仕事をしてきた為、自分の仕事をより自信をもって行えるようにする為、また、社内外でのキャリアアップの為に、どうしても必要な資格だと考え、受験を決意しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

外資系の金融機関に勤めていた為、また英語が元々好きだった為、英語自体にコンプレックスは無かった（TOEIC 880点）のですが、会計に関しては、仕事ではやっていたが、日本の簿記の基礎をゼロから学んだ事がなく、我流の思い込みを修正していくのに時間がかかりました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

13年前に行った予備校はあまり良い思い出がなかったので今回は説明会には行かず、TACともう一校の予備校の説明会に行きました。TACでない方の予備校は、合格後のサーティフィケートやライセンスの話が長々としていて、うんざりしました。とにかく最短で合格する事を目指すTACの方針に共感しました。また、日本の簿記の基礎を学んでいない自分としては、その点がコンプレックスになっており、日本の公認会計士の試験で実績のあるTACで簿記をゼロから納得の行くまでしっかり勉強したいと思ったからです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

TAX、公会計の内田先生の直前対策まとめ等のレジュメがとても役に立ちました。ただ出題範囲となっているテキストの分野を講義すればいいや、というのではなく生徒の立場に立って、どのように整理すれば負担なく効率的に覚えらるか、マスターすべきことと、捨てても良いことの線引き、などが素晴らしかった。

FARの小泉先生は、個人的に相談に行った時に親身になって丁寧に相談に乗って下さった。もっとも不得意で挫折しそうになったFARで最後まで頑張れたのは先生の励ましがあったからだと思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信で学習しました。FARは3年、BECは2年、REGは半年、AUDは3か月。すべての勉強時間は、昼休み、会社帰りの喫茶店等を全部いれて、1,500~2,000時間くらいだと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

FAR：DVDを見て、TACの問題集を1回解いたあと、Beckerの問題集のSupplementalを除く全問を何度も繰り返しました。シュミレーションはシュミレーション対策講義で使った問題や秀逸と言われているBeckerの問題をパソコンにインストールして解きました。直前期には、連結やBond、Pensionなどの不得意なところに関してポイントが詰まった良問を繰り返し解きました。また、

Final Exam も直前に解き、時間配分や的中問題などで本番で救われました。

BEC：原価計算で苦労しましたが、経済やITなどの得意分野もありました。得意分野はやっていると面白くなっていき、会社帰りに喫茶店などでいました。

REG：TAXは内田先生を信じて、先生が出ると言ったところを先生が言った通りにやりました。FARの公会計もそうですが、結局先生の直前対策まとめ中心の勉強で、授業を受けた後に復習等でテキストまで戻る余裕はほとんどなかったと思います。Business Lawは出題のウエイトが大幅に削減された為、Beckerの問題集はやらずにTACの問題集だけを解きました。

AUD：DVDとテキストだけだと不十分だということだったので、Beckerの問題集をSupplemental問題を含めて全問繰り返し解きました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

FARの点数は1回目68点、2回目73点、そして3回目に76点でなんとか合格する事ができました。最後の試験でも残り10分を切った時にシュミレーション問題7問の内、サーチ問題を含む4問がほぼ白紙でした。絶対もう一問は解かないと合格できないと思い、その中で一番とっつき易そうな1問に文字通り食らいついて、最後の最後まで諦めなかった事で、光がさしました。結局シュミレーションは3問ほぼ白紙でも合格できました。

私の場合は妻がスケジュール管理や弱点の洗い出し、良問の切り貼り等をしてくれたので、純粹に勉強に打ち込む事が出来ました。また今年は震災や身内の不幸等があり精神的に不安定になった時期もありましたが、家族のサポート、支えは何よりも有難かったです。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

内田先生が朝に勉強をする事を薦めておられたので、朝勉強すると、夜の1時間よりも朝の1時間の方が断然に効率が良いことがわかりました。たとえばどんなに頑張っても夜の1時間だと20問しか解けなくても、それを朝やると、軽く30問解けたりします。理由は分かりませんが、試してみる価値はあります。

会社に行きながら勉強するというのは、本当に大変だと思います。USCPAの試験は簡単だ、と言っている人がいたら断固「そんなことはない」と言いたいです。会計や英語のバックグラウンドがある人は短期で合格される場合もあるでしょうか、やはりその方々もそのバックグラウンドを作り上げるまでに相当の時間とお金とエネルギーを使っているはずで。考えている以上に困難で、したがって合格した時の喜びや充実感も考えている以上に大きい試験だと思います。

最後にTACの講師の方々をはじめ事務の方々、テキスト作成等のすべての方々に心より感謝申し上げます。



『継続は力なり』長い間応援してくれた人たちに心から感謝しています！

H.M さん

自動車メーカー海外部門で10年勤務した後、夫の転勤で退職したのを機に受講開始

2011年8月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：82点（2010年10月）、BEC：78点（2010年10月）
REG：76点（2011年8月）、AUD：84点（2011年2月）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

会社で初めて財務諸表を目にした時、自分で内容を理解できるようになりたいと思ったのがきっかけで簿記2級を取得し、その後英語力を生かして英文会計を学びたいと思い、USCPAをめざすことにしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 900点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

教材が充実しているという情報を知人から聞いていたし、知人がTACで日本の公認会計士の資格を取っており、信頼感があったから。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師の方々はみなさんとても熱心で丁寧な授業をしてくれて感動しました。教材は分かりやすく、TACオリジナルのテキストをしっかりと勉強すれば合格点がとれると思います。

小泉先生の『絶対にやめちゃだめですよ！』、内田先生の『最後の追い込みと絶対に諦めないという気合いと根性！』という言葉は、私の心にとっても響き、この2つの言葉を小さなメモ用紙に書いて、いつもペンケースに入れて持ち歩いていました。

行き詰った時にはこの言葉を見て、何度も勇気づけられました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信DVDコースを受講しました。正味2年勉強しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

FAR（財務会計）は計算問題が多いので、テキストで基礎知識を身につけたあとにひたすら沢山の問題を解き、本試験に備えて短時間で効率よく解答できるように練習しました。

BEC（企業経営環境・経営概念）は色々な分野の科目が集まっており、一つ一つ丁寧にテキストで理解した後に、Multiple Choice問題を解きました。管理会計・財務管理では計算問題を短時間で解けるよう練習しました。ITは聞きなれない言葉も多く理解できない箇所もあったので、暗記しました。REG（法規）は一番手こずった科目でした。その中でTAX（税法）は一度講義を聞いて問題を解けば、比較的理

解しやすい科目だと感じましたが、BL（ビジネス法）は用語が難しく、DVDを2回視聴し、各章ごとにまとめノートを作成し、自分なりに理解を深めました。これにより、あいまいに覚えていた所が少しずつクリアになっていきました。

AUD（監査）は実際の監査業務を想像することが難しかったので、こちらもDVDを2回視聴し、理解を深めました。AUDに関しては、ひたすら問題を解くというより、テキストの内容を確実に理解することに重点を置いた方が効果的だと感じました。

Becker Multiple ChoiceはAUDが1回（間違えた問題のみ2回転）、REGのTAXが1回（間違えた問題のみ2回転）、BLが2回転、FARとBECも2回転しました。どの科目もBeckerのサブプレメント問題、Becker オリジナルテキストには手をつけませんでした。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続では、公証人役場に行ったり、郵便局でマネージャーを作ったりと始めてのことばかりで大変でしたが、分からないことがあった時はTACのスタッフの方が電話やメールで丁寧に教えてくれたので、とても助かりました。

受験地はグアムでしたが、グアムは気候も良く現地の方々も陽気なので、緊張感がほぐれたような気がします。試験会場も綺麗でスタッフの方々もとても親切なので、気持ちよく試験に臨むことができました。

試験後に見た青い空と青い海は最高でした！

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPAは、会計だけでなくビジネスに役立つ幅広い分野を勉強することができるので、これからグローバルに活躍したいという人にはとても魅力的な資格だと思います。

勉強を続けていく中で、勉強を継続することが難しい状況になる場合があるかもしれません。それでも、いつか必ず合格を手に入れたいという強い気持ちがあれば、自分を信じて勉強を再開することができると思います。

私が勉強を再開した時に、温かく見守り応援してくれた家族、友人、先輩方に心から感謝しています。

支えてくれるまわりの方々に感謝して、ぜひ夢を掴んで下さい。



会計知識ゼロでも、ストレート合格できる！

古市 泰之 さん

1978年11月生まれ
龍谷大学 文学部 2001年卒
勤務先：海外税務関連サービス会社

2011年8月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：82点（2011年1月／1回目）、BEC：77点（2011年1月／1回目）
REG：84点（2011年8月／1回目）、AUD：90点（2011年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

仕事で日々やりとりをするクライアントの窓口が経理・税務部なので、以前より多少の会計知識を得られればと考えていました。そうしたなかで、税理士である上司よりUSCPA試験の受験を薦められ、学習を始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力は、仕事でのメールのやりとりに使う程度（TOEIC 855点）でしたが、会計知識はまったくありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

学習を始めるきっかけとなった上司に薦められました。説明会に参加した際にいただいたテキスト見本が分かり易かったことと、勢いがあるうちに勉強を開始したかった為、特に他校との比較はしませんでした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

各科目とも、講義の進め方がとても良かったと思います。平易な言葉での解説のおかげで、会計知識がまったく無かった私でも、講義内容を理解することができました。

さらに、テキスト中の問題、TAC問題集、Becker Pass Masterと、豊富に用意された問題を解くことにより、本試験をイメージしつつ、知識を定着させることができました。

また、講義中に各先生方よりいただいたアドバイスが、勉強の進め方にとっても参考になりました。特に、「簿記は加速度的に知識がついてくる」「細部を追求するのではなく、まずアウトラインをおさえる」というアドバイスが印象に残っています。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学DVDコースで学習しました。スケジュールを自由に組めたことと、DVDブースでリラックスしつつ集中して受講できたことが良かったです。

学習期間は約1年半（2010年2月～2011年8月）です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

コースの受講順序に従って、FAR→BEC→REG→AUDと受講しました。本試験は、FAR/BECを2011Q1に、REG/AUDをQ3にと、半年間隔で受験しました。

勉強の進め方は、試行錯誤の結果、各講義後に対応する問題（テキスト内&TAC問題集）を解くことで、知識を定着させ、また、本試験の問題をイメージできるよう努めました。

本試験の2ヶ月ほど前から、BeckerのPass Masterに移り、Supplemental Questionを除く、全ての問題を1回転、その後不正解だった問題を再度解きました。Pass Masterに移った段階でも、理解があやふやな分野がありましたが、各設問の解答を読み、それでも分からない場合には、直前対策テキスト中のSummary noteを確認しました。※MA&FIN（BEC）は阿辺先生の、TAX（REG）は内田先生のまとめノートを活用しました。要点のみ凝縮されていて、とても重宝しました。Summary noteとまとめノートのおかげで、自らノートを作る必要がなく、また、復習段階でほとんどテキストに戻ることもなかったため、非常に効率的に学習できました。

Simulationも、数回転させました。MCをひとつおぼろげに解いてからSimulationを解くと、科目全体の理解にもつながり、単なるSimulation対策以上の結果が得られたように思います。

本試験直前期には、Progress testに移り、1ヶ月間ほぼ毎日2科目×100問、合計200問のMCを解きました。隙間時間を見つけて問題演習を繰り返したのですが、本試験に向けての自信と解答スピードアップにつながったと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続に関しては、受講生サイトのガイドに分かり易く説明されていたので、特別なトラブルも無く、手続きできました。

受験については、2回ともグアムで試験に臨みました。海外での受験は肉体的、経済的な負担が小さくはありませんが、良い意味で非日常感があり、集中力を高められたように思います。

受験会場でも大きなトラブルはありませんでしたが、休憩時の入退出手続きに以外と時間がかかり、少しイライラしてしまいました。

試験については、他の受験生の方も書かれているとおり、MCはBeckerのそれほど長い問題文も無く、Pass Masterに慣れておけば、思ったよりも早く解けてしまうと思います。ただし、Simulationは、細かい点を問う問題もあり、難易度が高く感じました。時間的に余裕を持って臨まれるのをお勧めします。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

試験勉強が終わったいま、改めてTAC × Beckerの教材の完成度の高さを実感しています。また、本試験は、勉強時間がそのまま結果に反映される試験だと思います。

4科目の勉強のなかでは、なかなか知識が深まらず焦ったり、中だるみする時期を経験することもあると思いますが、目の前の教材とそれまでの学習時間を信じ、毎日少しでも問題演習を繰り返すのが合格への近道だと考えます。



急がば回れ

T.O さん

2011年8月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：（2010年10月／3回目）、BEC：（2010年10月／3回目）

REG：（2011年2月／1回目）、AUD：（2011年8月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

元々映画が好きで、以前勤めていた会社が業績不振でキャリアチェンジを考えていたため、何か武器でできるものが必要だと考え、英語以外に武器になるものがほしいと思い始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEICは800ぐらい。会計知識はゼロでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

USCPAをやっているところをほかに知らなかったのと、TACだと渋谷にあったこと。

日本の公認会計士などで知名度があるから選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

小手先だけの知識ではなく、きちんと理解させる教材・授業が良かったです。再受講制度も試験期間が長いので助かりました。

特に、内田先生のTAXまとめノートはすばらしく、REGが一発で受かることができたのは、先生のおかげだと思ってます。点数は、もうちょい取れていると思っていたのですがw。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2008年度入学です。最初のうちは、教材の多さや勉強するペースがつかめず、あまり勉強をしてなかったのとまったく会計経験がなかったので、FARとBECに結構時間がかかってしまったかと思います。

ただ、途中から一緒に勉強する仲間ができたりすることでモチベーションを保つ事ができ会計が楽しくなっていったことがよかったのではないかと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

会計経験や数学が苦手なため、FARとBECは相当苦戦しました。ただ、途中から落ちた際にどこが苦手かどこが得意かを分析して、回答や解説を丁寧に読みこむようになったため結果が出たと思います。

REGに関しては、内田先生、杉浦先生の言う通りやれば、TAC生であれば、何も問題ないでしょう。ただ、個人的にTAXはずいぶん最初受講してから、時間がたってしまったためもう一度授業をDVDで受けなおしました。

AUDは一回目は64点で落ちてしまい、自信があったので落ち込んでしまったのですが、そのあとTAC_USCPAのツイッターで相談したところ、再受講をしてみてもどうかと言われ、もう一度再受講したところ、結構変わってしまっている部分や意外に自分が覚えていなかったり暗記してなかったり部分があったため、これは落ちてしまって当たりまえだなんて思いました。その後、BECKERランダム100問をやったら平均85%くらいとれるようになり合格しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

初めは、試験の難易度が変化したり、シュミレーションが予想外のものが出たりすることで一喜一憂することが多かったのですが、変に焦ったり、浮いたりすると問題にひっかかるんだなあと思いました。最後の最後まで楽観はせず、ましてや悲観せずにひたすら平常心で問題を解いていくのがいいのではないかと思います。

NTSについてはこちらから働きかけないと結構忘れられることがあるので、届かない場合は管轄州にプッシュしたほうがいいでしょう。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

最初のうちは会計そのものが難しく、嫌いになりかけた時期もありましたが、仲間との出会いや会計を通じて現代社会や企業についてわかるようになっていき楽しくなってきました。楽しくやっていくことが何よりの近道になると思います。

あと、迷ったときは再受講をすることで根本的な基礎固めになると思います。

まだ、私自身経理経験が浅いためすぐに転職活動などは考えていませんが、今後は経験をつけて新たなチャレンジをしていきたいと思います。



TAC のテキストで大きな木を描いて合格を！

M.O さん

勤務先：大手監査法人

2011年8月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）

FAR：78点（2010年11月／2回目）、BEC：75点（2011年5月／1回目）

REG：77点（2011年5月／1回目）、AUD：78点（2011年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

大手監査法人でアドバイザー業務に従事しており、クライアントの多くが海外で上場している外資系企業であり、アドバイザー業務でも英語での会計・監査の知識が不可欠なため、包括的・体系的に英語で会計の勉強をしようと思ったからです。

また公認内部監査人（CIA）の資格試験に合格し、CIAの次のステップとして、学習を始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

アメリカで大学院を卒業しており、英語での読み書きは、特に問題ありませんでした。

大学で会計単位は持っていたものの、簿記を基礎から学んだことがなかったため、学習開始時には貸方・借方の違いも分からず、おそらく簿記3級の知識もなかったと思います。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

同僚のUSCPAライセンス保持者に、学習時に使用した教材を聞いたところ、TACやBeckerの教材を使って、実際に合格している人が多かったためです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

情報が充実しており、サポート体制が整っている点がよかったです。2011年から新試験制度に移行し、試験範囲が変わったり、日本受験が可能になったりと様々な制度の変更がありましたが、タイムリーに的確な情報を発信して頂いたおかげで、移行時も戸惑うことなく、対策を進めることができました。

テキストは、科目ごとに、構成や論点の見せ方、完成度が異なるので、全体として、もう少し統一して頂いた方がよいかと思います。それぞれ講師の個性や特色が出ていて面白かったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

自分のペースや、試験計画に応じて、学習が進められるためDVD教材を選びました。仕訳など会計のベースとなる知識が不足していたため、合格するまでFARに1年間くらいかかり、残りの3科目合わせて半年くらいの学習期間でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

最初にFARを受験した時は、Beckerの問題集をひたすら繰り返して準備しましたが、問題をなんとなく解けるようになっていても、理解が十分でないと、実際の試験に対応できないことを痛感したため、それからは、どの科目もTACのテキストをとにかく丁寧に読んで理解することを心がけました。

木に例えると、TACのテキストを理解して木の幹をしっかり立てて、次にBeckerの問題集を解いて問題に慣れながら、全体に広く葉を付けていき、最後にAICPAの公表問題を数年分解いて、実際の試験で論点になりそうな点を見つけて、木の果実を付けていくイメージです。

基本の幹がしっかりしていないと、葉も実も付けられないので、どの教科も早めに基礎をしっかり固めることが、結果的に近道になったと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

申込をしてからNTSが2か月以上届かずNASBAにメールで催促したり、グアム受験時に予約していたタクシーが迎えに来なくて別のタクシーに乗車したら高い乗車賃を要求されたり、初めての日本試験会場でPCの不具合のため試験開始時間から40分以上待たされたりと、トラブルに見舞われることも数多くありましたが、試験を通じて様々な出会いがあり、それらも含めて、よい思い出となっています。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

日本受験が可能になったおかげで、受験のハードルが非常に低くなったと思います。私も実際に日本会場で受けた時は、精神的にも肉体的にもかなり楽でした。

しかし、試験には、ある程度まとまった期間、学習に集中できる環境が必要です。受験期間のライフイベントを考慮した上で、学習をスタートさせたほうが良いと思います。私も引越や結婚準備などがあり、職場や家族の理解がないと勉強を続けられなかったと思います。また、学習を始める前に、USCPAが自分のキャリアの中で本当に必要なのか、将来どう活かすのか、その費用対効果も含めて検討しておくとういと思います。

あきらめずに1,000時間作ろう



Y.K さん

慶應義塾大学 文学部 2000年卒
勤務先：税理士法人

2011年8月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：82点（2011年5月／1回目）、BEC：84点（2010年8月／1回目）

REG：77点（2011年2月／2回目）、AUD：84点（2011年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

きっかけは、上場企業向けコンサルティングの一環としてIFRS導入に係る業務に従事したことです。中長期的にIFRS導入営業／コンサルティングの人材ニーズが増えることはあれ無くなることはないと思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEICは、600点台でした。

会計知識は、簿記2級及び金商法決算・開示の実務経験をもっていました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

周りの親しい公認会計士は、みんなTAC出身だったため、迷わずTACを選びました。

Beckerのことは全く知りませんでした。結果として一番良い選択でした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

TAC教材／Becker教材の良さにつきますと思います。米国で合格実績の高いBecker教材からエッセンスを日本語化したテキスト、厳選された問題集及び直前対策テキスト。これらをしっかり自学することで最低限の合格レベルに達することができました。

また、REG内田先生の直前対策まとめは、試験のポイントがぎっしりまとめられており、大変助かりました。

また、Becker教材（及びそれに基づくTAC問題集の）マルチプルチョイスは、本試験より難しめです（一度受験すると同じ感想を持っていただけだと思います）。ですので、二科目目からは、「TAC教材／Becker教材」で勉強していれば本番は大丈夫という自信が生まれてきました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学を選びました。

可能な限りライブ講義に参加し、仕事上参加できない場合のみDVDで補てんしました。

学習期間は、2010年4月～2011年8月の1年5か月（累積学習時間は約900時間）でした。週末は、講義及び自習室、平日は、早朝出勤前に1～2時間問題集の演習を行いました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

TAC教材を中心に学習しました。講義参加→テキストに含まれる問題演習→TAC問題集演習（1回目）→TAC問題集演習（2回目）を各科目必ず行いました。問題集を解く際は、ページ毎に回答解説をよく読み、ポイントを問題集に書き込

みました。回答解説でもよく分からなかった点は、テキストに戻って確認しました。

試験直前期は、直前対策テキストに基づき、DVD視聴→問題演習→解説視聴を2回繰り返しました。U.S.CPA試験は薄く広くであるため、直前対策でまんべんなくポイントを確認するという作業が思い返すと効果的であったと思います。

Becker教材には、時間的余裕がなく、BEC以外手をつけることが結果的に出来ませんでした。

（科目ごとの学習法の補足）

FAR：企業会計はなじみがあったためUSGAAPとJGAAPの違いに焦点をあてました。試験直前期は合格のポイントである公会計を徹底的に行いました。本試験で公会計での取りこぼしはゼロだったと思います。確実に得点できるうえ時間短縮もできるため助かりました。

REG：なかなか頭に入らなかったため、Beckerフラッシュカードを用いて移動時間など細切れ時間にも暗記しました。問題集を解く際は、横に直前対策まとめを開いて、ポイントを確認しながら進めました。

BEC：公式系の問題は、直前に徹底的にグアムのホテルで暗記し直しました。

AUD：微妙な英語表現の違いを汲み取れず、一回目の問題演習成績がボロボロであったため、二回目の問題演習では、4つの選択肢を必ず読み、ダメな理由／正解である理由をじっくり考えることを心がけました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

一科目ずつ各個撃破する戦術をとりました。渡米費用はかさみますが、仕事も忙しかったため一度に脳みそに入れる量を少なく済ませたいと思いました。一科目につき「2カ月徹底して問題演習」を4セット繰り返しました。

旧試験制度最後のWindowであったため混み合っていた2010年11月を除いて、全てグアムの週末受験ツアーを利用しました。費用はかさみますが、①有休使用を減らせること、②空港－ホテル－会場の送迎付きであること、③ツアー会社の会員になると先行予約ができることのメリットを享受することができるため、私にとっては受験を確実にスケジュールし、リラックスして本番にのぞむことができ有難かったです。

受験時のトラブルは幸いなことにありませんでした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

合格までの目安の学習時間がおおよそ1,000時間とされるというパンフレット情報。TAC教材／TAC講師陣のアドバイス。これらを信じて、累積学習時間が1,000時間になるまで学習を続けてみてください。きっと、あなたも合格もしくは合格への道筋が見えている状態になるはずです。



自分なりの学習方法が見つかります。TACと自分を信じて。

M.F さん

2011年8月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：80点（2011年5月／1回目）、BEC：76点（2010年5月／1回目）

REG：75点（2011年4月／2回目）、AUD：79点（2011年8月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

今後のキャリアアップのために少しでも役に立つものは何だろう、そしてせっかく挑戦するなら自分の興味ある分野で何かないのだろうかと考えていたところ、U.S.CPA試験という存在を知りました。英語で会計関連の知識を学べるというところに新鮮さを感じ、これならあきらめずに続けられるだろうと思いました。また、会計の国際化が進んでいるということを知り、この試験勉強をするにはいいチャンスではないかと感じたことが印象に残っています。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEICは900点程度です。

会計関係では、日商簿記検定1級です。

あと、特にBECで間接的に役立ったなと感じたものは、証券アナリスト試験とシスアド関連の試験です。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日商簿記検定講座や証券アナリスト講座等を過去に受講していました。そういった過去の合格実績から、TACなら安心して受講できると信じていました。また、U.S.CPAに関してはBecker教材も利用できるとの説明を聞き、必ず合格できると感じました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

いろいろな講師の方々が講義をしてくださいました。それぞれ特徴のある方々でおもしろく(DVD)講義を視聴させていただきました。講義を視聴するのは少し苦手ですが、特にご自信の受験体験やお仕事での体験を紹介してくれるなど、内容を工夫しながら講義をしてくれていると感じました。TACの教材はとても分かりやすく、私はTACの教科書を基本にして勉強することを意識していました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信で学習しました。

私は2009年春／夏講座を申し込みましたが、実際にDVDを視聴し始めたのは2010年1月からです。2011年8月にAUDを合格し終了しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

私は平日の夜や休日に勉強するのは苦手なため、平日の朝は必ず勉強しようと決めました。平日の朝は必ず60分から90分程の時間を確保して勉強しました。その代わり、平日の夜や休日に勉強したことはほとんどありません。

学習方法についてですが、DVD講義を集中して聴くということと、TACの教科書の内容を理解するということに重点をおきました。

あまりおすすめできることではないかもしれませんが、私は受験申し込みをとりあえず済ませてから勉強を始めるタイプだったので、結果としてTACから提供された問題集を全部できずに受験しています。Beckerのシミュレーション問題についても、取り組んだのはAUDだけだったと思います。ただ、繰り返しになりますが、講義

と教科書については重要視し、教科書は常に肌身離さず持って、移動時間に読んでいました。

BECについては、過去の資格取得経験から比較的簡単に合格できそうだという理由でまず受験しました。BEC合格後の有効期限内には必ず全科目合格するという目標を立て、それに向かって学習を進めました。

FAR・REGについては、講義・教科書とBeckerのMultiple Choice問題集を中心に学習しました。REGについては講義中にシミュレーション対策として問題を解いた記憶がありますが、それがとても役に立ちました。FARについては、たしかシミュレーション対策講義が数回設けられていたと思いますが、視聴していません（申し訳ありません）。過去に日商簿記検定を受けていたということも影響しているかもしれませんが、教科書を読むことで全体の流れをイメージすることによってシミュレーションも必ず対応可能と信じて学習しました。

AUDについては4科目の中で一番苦戦した科目と言えます。2010年秋に1回目の受験をした時は、DVD講義視聴を終えただけの状態でした。2011年1月に2回目の受験をした時は、Multiple Choice問題集を終えた状態で、あと2・3点足りずに合格できませんでした。2011年8月受験に向けては、Beckerのシミュレーション問題も解きましたが、そこでもやはり教科書を基本とすることは忘れずに、監査報告書の文章を記憶するほど読みました。本試験の問題で解答に迷ったときは、教科書で学んだ内容や監査報告書の文章を思い出して、監査の基本は何かを自分なりに意識しながら解答するようにしました。試験結果にもう少し自身があったのですが、思ったより点数が悪く残念でした。やはりもっと事前対策をしておいた方が良かったのかもしれない。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

私は幸いにも受験手続は順調に進めることができました。

海外で受験することということで、飛行機での移動が必要になります。私は航空会社をある1社しか利用していませんが、エコノミークラスが非常に狭かったせいか、体調を崩し、体調不良のまま受験することが何回もありました。それから、体調を崩して受験することは絶対避けたいという思いで、途中からビジネスクラスを利用することにしました。費用負担は大きくなりますが、確実に合格することを考え、思い切って利用しました。その結果、体調を崩すことなく受験することができました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

TACは様々な受講方法があります。自分自身に合ったコースを選択することができると思います。講座内容の質については言うまでもありません。

U.S.CPA試験は自分自身でスケジュールを決めることができます。必要以上にあせることなく、自分自身のペースで学習できます。TACを信じて学習を進めれば、合格や確実に近づいていきます。

また、海外受験の場合は、私のように体調を崩してしまう方もいらっしゃるかもしれません。ご自身の予算とスケジュールをしっかり管理して、自分なりに万全の状態を受験できる環境を整えるのも非常に大事だと思います。

TAC、そして何よりも自分自身を信じてがんばってください。



TACで苦手科目を克服し、短期一発合格を達成！！

O.M さん

1978年12月生まれ
慶應義塾大学卒
勤務先：大手電機メーカー経理勤務
⇒試験合格後、税理士法人の移転価格部門に転職

2011年8月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：91点（2011年8月／1回目）、BEC：87点（2011年8月／1回目）
REG：79点（2011年8月／1回目）、AUD：92点（2011年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

これまでの経験を通じ学んできたことを形にしたいと思い受験を決めました。また簿記検定のように一つの分野でなく、職業人として必要な複数分野に渡る知識を習得したいと思い、受験しました。時期的にも、この時期を逃してしまうともう大型資格の取得は難しいのではないかと思われたことも影響しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力及び会計知識はあり（TOEIC900以上）。BECとAUDは部分的にあり。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

当初はUSCPA試験か中小企業診断士試験のどちらかを受験しようと考えており、いずれの試験についても実績のあるTACにご相談させて頂いたことがきっかけでTACを選びました。またTACは他校に比べ学習内容が豊富ということで、折角勉強するのだからきちんとやりたいと思い、TACに決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

REGの杉浦・内田両先生のご講義は群を抜いていたと思います。REGは苦手科目でしたので、両先生のご講義には大変助けられました。BEC直前対策のWC対策講義も非常に分かりやすく、これなしでは同セクションは勝負にならなかったと思います。またいずれの教材も良くまとまっており、後からの参照もしやすく、DVDで講義を聞きなおしたり、他の参考書で補ったりといった必要性は全く感じませんでした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信で受講しました。学習期間は9ヶ月程度（前年12月から本格的に勉強を始め、8月のお盆明け頃に受験）でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

REGとAUDはTACの教材のみで知識をインプットし、アウトプットについては必要に応じ他の教材からの問題も解きました。FARとBECはほぼ独学でしたが、BECについてはWC対策のためTACの直前講座も聞きました。Beckerのテキスト等は私はほとんど使いませんでした。予備知識が乏しく覚え

ることの多いREGの勉強には非常に苦勞し、直前期の勉強時間の大半を同科目の対策に費やしましたが、TACの的を射た講義内容のおかげで、本番はさほど戸惑うことなく乗り切ることができました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

準備期間が日本試験開始と重なっていたこともあり、試験制度の変更等で多少の混乱もあった時期でしたが、TACのタイムリーな情報提供のおかげで当初の予定通り、短期合格を果たすことができました。試験会場はサンフランシスコで、3日間で4科目纏めての受験でしたが、時差がある上に体調も崩してしまい、本試験ではかなりしんどい思いもしました。それでも試験後は現地を観光することもでき、終わってしまえば良い思い出となりました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

私のFARのテストレットではIFRSが割と多く出ていましたので、ある程度時間を取って勉強された方が良いかもしれません。働きながら集中的に勉強するのはかなり大変ですが、かといってダラダラと続けてしまうと合格率の面でも、また仕事や生活への影響の面でも良くないと思います。最後に、社会人になってから時間を取って教育を受けるというのは非常に貴重な経験となりますので、学習する資格や学校はよく検討した上で選ばれることをお勧め致します。



資格取得を宣言し、モチベーションを維持！！

Y.S さん

2011年5月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：83点（2010年5月／2回目）、BEC：81点（2009年11月／1回目）

REG：82点（2010年11月／2回目）、AUD：82点（2011年5月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

外資系企業でアジア勤務していた時、経理財務関係者採用にUSCPA有無が重要なポイントとなっていました。財務チームメンバーには有資格者も無資格者も居り、それぞれの得意分野に合わせて仕事をしていたのですが、私も時間的余裕が出れば一度チャレンジしようと考えていました。

IFRS及び日本の会計基準が年々変化していく中で、IFRSの方向性は昨今USGAAPの影響が強い模様なので、日本・IFRSだけでなく、USGAAPの知識が会計基準変更の方向性の予測や、実務処理上の基準を考える際に有益と判断しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力はTOEIC750点程度です。海外とはいえ英語が母国語でない国での勤務だったこともあり、英語の環境は日本と変わらず、英語を苦手としていました。

会計知識は日商簿記2級、FASS検定(A)、IFRS Certificatedです。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

ホームページを見て、講座取得時間が自由にとれる点、またBeckerの講座を中心に勉強できる点で選びました。Beckerが有名な講座とは知らず、「USAの講座ならば試験傾向にも合致しているのだろうな」という程度の認識でした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

AUD以外はTACの教科書しか読みませんでした。FAR、REGの教材はまとめ方も上手でアップデートも良くできており、非常に助かりました。講師の方々がお仕事上の経験談を交えてくれたので、楽しんで勉強できました。会計、制度等、日本と比較してしまい、色々考えることの多い受験期間になりました。（受験勉強としては非効率かと思いますが。）

TACの場合、会計とか制度の背景にある文化・思想を講師の先生方が説明してくださりますので、それが「受験知識」のツナギになり補強してくれます。日本の「常識」や「制度」と違う部分を特に注意喚起していただき、感謝しております。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学で学習しました。途中病気で中断したとはいえ、TAC2009年春受講開始から合格までに約2年かかりました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

本人の性格か、勉強していない方だと思います。Beckerは2回転しかしていません。週に平均2回は業務等々でお酒を飲んでいましたし…。

私のように「サボリ」癖の有る方には、『会社の中で受験を発表して自分を追い込む』手段は有効です。会社自体が各個人の資格取得を奨励していることもあり、部下から「それなりに頑張っているんだ」と思われたくて、発表しちやいませ。お陰様で、お互い勉強時間を作ろうという含意(?)があったせいか業務効率化を実現でき、各人努力して資格取得を果たせました。

自分のMultiple Choice誤答中、「内容の間違い」と「英語の勘違い」があるのに気づき、質問の英語を間違えて誤答したものは別にEマークを付けて復習するようにしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

2011年2月にAUD2回目受験した時に失敗しました。上々の出来で4時間の試験が見直しも含め3時間で出来てしまい自信満々でしたが、74点で不合格でした。Multiple Choiceは全部ExcellentになっておりSimulationだけが酷い出来でした。

Simulationの下の7つのタブだけを動かして回答したのですが、どうも一つのタブに2つの設問があり上のタブを動かして回答すべきところ、全部回答しなかったようです。

あまりの粗忽さに会社で笑われておりましたが、ご注意ください。なお、TACのシミュレーション解説にはちゃんと「注意」が載っています。

試験場に行く方法について：送迎（タクシーあるいはホテルで予約）をお勧めします。グアムですとレオパレスリゾートは時間を守って送迎してくれました。私の場合、レンタカー使用時には少し試験と別なことを考えている部分もあったせいか（試験が終わったら〇〇へ行こうとか…）レンタカー使用時の合格率は低くなりました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

試験勉強をすると英語が上達します。受験前には読むのが辛かった経済誌（Economistとか、Financial timesとか）が読めるようになりました。

諦めずにチャレンジされれば努力がかなう試験だと思います。日本の資格試験（宅建やマンション管理士）よりもMultiple Choiceの設問は素直ですので、「ひっかけ対策」に日本の資格試験程時間を使う必要はないです。



仲間を作って楽しくモチベーション維持

宮崎 一成 さん

勤務先：インターネット関係企業
中小企業診断士資格保有 (W資格)

2011年5月 USCPA試験合格 (メイン州)

FAR : 78点 (2010年5月/1回目)、BEC : 82点 (2010年5月/1回目)

REG : 76点 (2010年11月/1回目)、AUD : 83点 (2011年5月/2回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

インターネット関係の会社でベンチャー投資とM&Aを担当しており、最近グローバル化の流れから北米企業への投資案件も増えつつあります。投資候補先の英文財務諸表や米国の税務申告書を見る機会も増え、投資判断を行う上で必要に迫られて、独学で英文財務諸表の勉強を始めました。せっかく勉強するならば、今後グローバルに通用する資格を取りたいと思い、2010年1月からUSCPAの学習を開始しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

開始時の英語力は、仕事で多少使う程度 (TOEIC 770点)、英文会計の知識としては、BATICコントローラーを保有していました (965点)。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

通学可能圏内の受験校からパンフレット取り寄せた上で、ガイダンスや体験授業に参加しました。最終的には、受講期間内であれば何度でも自由に講義に参加できるフレキシブルな制度が決め手になりTACを選択しました。

Q4 TACの講座でよかったところ (講師、教材、カリキュラムなど)

ROUTE99本科生コースを申し込みましたが、全てにおいてバランスの取れたコースだったと思います。

先ずカリキュラムとしては、1年間で完結する構成になっており、受験スケジュールも立てやすかったです。しかしながら、授業はテンポよく進みますので、途中で置いていかれることもしばしばありました。また、仕事やプライベートの都合で休まねばならない場合もありましたが、DVDでフォロー講義が受けられたので、分からない所をそのままにせず、次の講義までに追いつく事ができました。

教材は、Beckerをベースにした講義が良かったと思います。Beckerの英語の教材そのままだと、学習のハードルが高かったと思いますが、日本語訳テキスト+日本語での講義でしたので、多少英語に不安があっても途中で挫折することなく最後まで続ける事ができました。

講師の方には、分からない部分を講義の後に直接質問できましたので、毎回助けていただきました。講義内容に関しては、実務経験が豊富な講師が揃っていますので、日本の会計基準との違いや、実務での体験談などを交えた楽しい講義だったと思います。

税務、監査論などは初めて学習する内容でしたが、内田先生、帆足先生、田中先生のおかげで理解も深まりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学コースを選択しましたが、基本的には生講義に参加して、DVDは補助的に活用しました。学習開始から合格までの期間は、1年5ヶ月です。

Q6 合格までの学習法 (全般的なこと/科目別)

この試験に合格するには、フィジカル(学力向上)とメンタル(モチベーション維持)の両面が必要だと思います。

フィジカル面では、授業に出てBecker問題を解く事の繰り返しです。私は、授業で分からないところはその場で質問して、次に残さない事を心がけました。Becker問題は、Pass Master(PCソフト)を使えば、問題毎にBecker電子テキストへのリンクボタンが付いているので、解説ページが直接確認できるため効率的に学習できます。

メンタル面は、仲間作りが重要です。私の場合、ランチに行く友人を誘って友人の輪を広げたり、メーリングリストに参加させてもらったりしました。長丁場の試験なので、楽しくないと続かないと思います。モチベーションを維持しつつ、受験の手続きやトラブル防止にも、最新情報を交換できる友人を作るのが短期合格には有効だと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験時のトラブルは、2件ありました。

1件目は、初回受験の際にプロメトリックセンターの下見に行った際に、受付で念のため予約の確認をしてもらったのですが、受付の人から「FARの予約は入っているが、BECの予約が入っていない」と言われました。何度確認してもらっても予約が見つからず「自分でプロメトリックセンター事務局に電話で問い合わせしてくれ」と名刺を渡されました。BECの試験は翌日で、プロメトリック事務局の営業時間は残り30分しかなかったので、非常に焦りました。ダメもとで、BECの予約確認書を再度見せて、「もう一度確認してもらえないか」と言ったところ、予約が確認できてホッとしました。これから試験に行かれる方は、受験の下見の際に予約がちゃんと入っているか確認した方がいいと思います。

2件目は、テスト開始の際に入力するパスワードが通らず、危うく試験が受けられなくなりそうになりました。受付にて、パスワードを紙に書いてもらって渡されるのですが、その人の文字がすごい癖字で、パスワードの最後の文字が、どう見ても「4」にしか見えなかったのですが、実は「6」だったのです。受付の人を呼んで、直接PCにパスワードを入力してもらい事なきを得ましたが、パスワードが2回はじかれた際には、さすがに「やばい」と思いました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

学習開始から合格まで、最低1年は必要です。長丁場の試験ですので、必ずどこかで壁にぶつかると思います。一人で悩まずに講師、TAC事務局、勉強仲間相談して乗り越えてもらえたらと思います。特に、試験範囲、受験手続、試験制度が日々変わっていきますので、常に最新情報入手する必要があります。仲間を作って楽しくモチベーション維持して、省エネ(短期間、低コスト)合格を目指しましょう。

US CPA 試験から海外会計事務所へ



D.M さん

日本と海外での複数業種での職業経験を
活かし、海外会計事務所へ勤務予定

2011年4月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）

FAR：90点（2010年4月／1回目）、BEC：87点（2010年4月／1回目）

REG：87点（2011年4月／1回目）、AUD：96点（2011年4月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

日本と海外で、営業を中心に様々な仕事を経験してきた中で、専門性の高い会計・経営・法律・税務・監査の知識を広く体系的に習得し、今後の仕事の質を高めたいと考えたから。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級
英語知識：TOEIC®TEST 945点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

日本の公認会計士試験合格実績による信頼感と、単位認定試験制度を含む充実したカリキュラム、5年間継続再受講制度などのきめ細かな体制が整っていたから。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

まず学習システム面では、私の場合、海外勤務もあり通学での学習は困難であったため、DVD通信で自宅学習できたことが良かったです。DVDだと実際の教室の講義を自宅で視聴し自分の理解のペースにあわせて学習できました。

また、講座のサポートスタッフの皆さんが、出願州の選択から、学習が長期化し期限の切れたBECKERコースCDの再インストール方法等きめ細かく助言してくださいました。不足単位に関してもTAC教材を学習することで提携大学の単位認定試験を日本で受けられましたし、改定レジュメや5年間継続再受講制度でしっかり学習内容をアップデートできたことも助かりました。テキストはTACの先生方がBECKER等教材も十分に研究された上で執筆されているので、深い理解を得られました。余談になりますが、TAC提携のブラッドリー大学は、米国の人気作家ダニエル・ステイール氏の著書「つばさ」にも、イリノイ州ピオリアの地名とともに登場していますよ。

長い道のりでしたが、先生方の熱意ある講義に引っ張られて最後まで歩き通しました。FAR、ECO、AUDを教えて下さった清松先生の落ち着いた雰囲気と、豊かな知見に裏打ちされた明解な板書解説、メリハリの利いた進め方により会計の根幹の理解が深まりました。BECの渡辺先生のリズミカルで明快な解説も分かりやすくMAを効果的に習得できたと思います。公会計とTAXの内田先生は、覚えることの多い両科目を、背景となる理屈をトコトン噛み砕いて説明していただき、独自の工夫が凝らされた対策まとめて整理してくださいました。溢れんばかりの熱意でボリュームの多い両科目をご指導いただいた事に感謝しております。BLの杉浦先生は、解説事例が大変分かりやすく印象に残り、無味乾燥になりがちな暗記論点もスムーズに抑えることができました。AUDの帆足先生は、米国監査の実体験を織り交ぜてのご講義が興味深く、重要ポイントを指摘してください、最初とつづきにくかった科目が、蓋を開ければ一番良い結果でした。そして直前対策講義の廣安先生も膨大な範囲を一気におさらいしてください、効率よく確認ができました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信で学習しました。海外勤務予定が入っていたため、2007年末に既に終盤の講義まで進行していた春夏入学の教材を一気に送っていただき、半年ほどで不足単位を取得し終えました。実質的に学習した期間は約2年ですが、仕事の都合で学習から遠ざかった空白期間も入れますと、最初から最後まででのトータル期間は3年半ほどです。渡航費、受験料も負担がかかる為、準備をしっかり整えて受けたかったので、予定より半年ほど長かかりました。フレキシブルな受験システムは、U.S.ならではの良さだと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

DVD講義1～2枚を視聴し、区切りの良いところでテキストを読み返し、TACの問題集を説いて解説を読みこむというサイクルを繰り返しました。しかし、間違った問題は再度確認で解いたとき、やはり同じようなミスをしてしまうことが多く、内田先生の授業の後は、他の科目も自分でテキストの復習の際、まとめノートを書いて自分なりの考察を書き込むようにしました。間違った問題についてもノートに書き込むようにし

ました。ノートに書くのは時間も労力も要し、大変でしたが後で見直するのに、自分で書いたノートは読み返しやすく良かったです。

最初は渡航費も結構かかるので4科目学習後まとめて受験しようと考えていましたが、REGの勉強まで進んでいきましたが一旦切り上げて、まずFARとBECを受験しました。FARとBEC受験後、REGとAUDを学習しましたが、FARほど学習ボリュームはないだろうと思っていたのが大間違いで、特にREGはTAXとBLというそれぞれに馴染みのないボリュームのある2科目が入っているため、一通りしっかり学習するだけで半年ほどかかりました。息切れせず頑張れたのは、内田先生と杉浦先生の講義によるところが大きいです。

最後にAUDを学習し始め、最初はつかみどころがない感じで間違った問題の解説にも合点がいかず、これは慣れるまで時間がかかりそうだと感じました。実際最後まで学習してやっと全体がつながって分かってきまして、BECKERの演習で理解不足を感じる箇所はBECKERのテキストを読み、まとめノートに盛り込みました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

試験はすべてグアムで受けました。ホテルはタモン地区を離れた静かなエリアにしました。観光タクシースタンドが近くにあり、往復30ドルでした。韓国人や地元チャモロ人の運転手さんで礼儀正しく、清潔な車両できっちり時間に余裕を持って迎えに来てくれましたので安心感がありました。これからもグアムやハワイで受験される方は、試験終了後タクシーに迎えに来てもらう時刻は、試験の予定終了時刻ぐらいで良いかと思えます。試験が始まるのが予定開始時刻より多少早くなるので、試験後サインアウト手続やお手洗に行くと、迎えに来てもらうのに丁度良い時刻になると思います。ホテルの室内の照明が暗くて、前夜に見直しするのにバスルームの蛍光灯の下で見直しをしたりしました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

日本受験も始まり、随分受けやすくなっていますので、受験の仕方も1科目ずつ積み重ねることもできますし、2科目ずつ、あるいは4科目一気に等、個人の状況に合わせたプランが立てやすくなると思います。唯一気をつけたいのは1年半というスコアの有効期限で、学習を終えた順に1科目ずつ受ける方法は記憶の新しいうちに受けられるメリットがありますが、学習のテンポは緩められません。お仕事の都合で継続的に学習できるか不安な方は、まずは一通り講義を受け全体を把握し基礎力をつけ、その後、本試験レベルの対応力を各科目つけて受験していけば良いかと思えます。

また、私の場合、学んだ知識を会計事務所での実務経験で高めたいと考えておりました。7月に全ての科目の合格通知を受けた後、会計事務所への転職を希望して色々調べました。TACプロフェッショナルバンクにも登録させていただき、一般事業会社の魅力的な案件もご案内頂きました。しかし、まずは会計事務所でも働く機会を探そうと考え、8月に米国キャリアフォーラムにエントリーし、9月～10月に電話英語面接（事務所により無い場合も）、10～11月の米国での会場面接を受けました。数社、最終面接まで行ったものの、あいにく内定には至りませんでした。ここで内定を得られた場合、就労ビザの申請の為、翌年の9月一斉採用となるケースがほとんどのようです。ですから、内定後かなりの空白時間が出来てしまいます。米国キャリアフォーラム等で、米国でのお仕事につなげていくことをお考えの方は、たとえ全科目合格前であっても、就職希望年度の前年度のフォーラムに参加されても良いと思います。

米国キャリアフォーラムの結果が芳しくなかったため、気持ちを新たに、日本および過去に勤務経験があり馴染みのある国の会計事務所へ個人で直接応募いたしました。その結果、書類選考、電話面接を経て、海外の会計事務所より日系企業担当職として内定を頂戴することが出来ました。

私の場合、会計事務所を目標に転職活動を始めたものの、年齢制限や未経験というハンデが先行し、日本では日本国公認会計士試験合格後、監査法人での実務経験を積み重ねない方がいらっしやるくらい厳しい就職状況、米国では米国内の大学を優秀な成績で卒業していることが重視される状況と、最後の最後まで結果が出ず、何度も気持ちが折れそうになりました。今回の内定を頂いてなかったら、迷うことなく一般企業への転職に方針転換してしまいました。合格体験記の投稿が随分遅くなりましたが、合格後の転職活動の紆余曲折も盛り込むことで、より一層意味のある体験記になるとの考えから、今まで投稿を控えて参りました。私の苦い転職活動体験が、合格後に転職をお考えの方にとって、多少なりともご参考になれば幸いです。



願いは叶う

Y.L さん

2011年4月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR : 86点（2011年4月／1回目）、BEC : 82点（2011年4月／1回目）

REG : 90点（2011年4月／1回目）、AUD : 81点（2011年4月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

昇進と転職のためです。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEIC 890点で、大学・大学院とも会計学が専門でした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

ネットで検索したらTACが出てきたので他校を考える余地なく選択しました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師陣は本当に素晴らしいと思います。毎回の授業が待ち遠しくて楽しかったです。

いまでも授業の内容が頭に残るぐらいなので、相当インパクトのある授業でした。

試験を受けてみて、本当にTACの講師たちはプロフェッショナルだと実感しました。

TACは合格の近道です。

カリキュラムもちょうど一年のコースなので、一年で合格したい私にはぴったりでした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

毎週土曜日の通学でした。合格までの学習時間はちょうど一年でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

毎回授業の後にはすぐ復習し、テキストの問題、TACの問題集の問題、Beckerの問題を一通り解き、テキストの内容を定着していきました。試験の3ヶ月ぐらい前からは全科目2回目と3回目の回転をやって、時間の配分を意識しながら正確かつスピーディーに問題を解く練習をしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

試験の初日はあまりにも緊張し過ぎて、心臓が飛び出るような思いで大変でした。

初日と二日目に受けたFAR,BECに比べて最後に受けたAUDは一時間も時間があまり、結構余裕だったのですが、点数が一番低くて目を疑いました。AUDに関しては苦手になっている日本人の方が多いということを知って、Beckerの問題に関しても補助問題まですべて解いて試験に臨みましたが、思うどおり点数がいかず、ちょっと不思議な感じがします。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

はっきりした目的意識を持って、あきらめずに続ければ必ず希望は叶うので、何と云っても途中であきらめないことですね。始めたからには最後まで頑張れば結果は出ます。

特に REG の内容が魅力的でした



Y.E さん

2011年2月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：90点（2010年8月／1回目）、BEC：84点（2010年8月／1回目）

REG：85点（2011年2月／1回目）、AUD：94点（2010年8月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

仕事上、外国企業の財務諸表を見る機会が多く、一度体系的に勉強した方が良いと考え、USCPA試験に挑戦してみようと思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力はTOEICで800点程度、TOEFLのPaper Based Testだと600点程度でした。また会計知識については、資格で言えば、簿記2級・証券アナリスト試験での知識、あとは実務で勉強していた程度になります。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

講義数が多く、またBeckerとも提携しているという内容の充実度に対し、費用がリーズナブルな水準であった点です。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Beckerのテキスト、CD ROMの練習問題は大変良かったと思います。BeckerのCD ROMで何度も問題演習を行ってあげば、本番でも十分対応できると思います。また、FARのNon Profit OrganizationとTaxのテキスト、要点まとめのテキストは大変よくまとまっており、一番苦手に感じていたREGでも一回で合格することができました。更に、Regulationは新制度で受験したのですが、新制度でのトピックについても受講生サイトでいち早くアップして頂けたので、万全の準備を行うことができました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

仕事上通学が難しかったので、通信にしました。合格までの学習時間はカウントしていないのでよくわかりませんが、今テストを受けたら間違いなく合格できる、という水準に達するまで勉強したという感じです。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

FAR：TACのテキストで復習し、それだけでは不十分と感じたポイントはBeckerのテキストで改めて確認するという方法で勉強しました。後は、ひたすらBeckerの問題演習で、一度間違った問題を中心に2～3回繰り返しました。

BEC：MA・FM・ECO・BSは、TACのテキストでの復習、Beckerでの問題演習というところでした。また、ITについては、講義やTACのテキストだけではあまり理解が深まらなかったため、まずBeckerの問題を解き、解説を見て、わからない点はBeckerのテキストで確認する、という流れで勉強しました。

REG：Regulationについては、新制度の試験での受験であったため、BLの出題割合が減少する中、どの程度まで勉強すべきか悩みましたが、極力時間をかけないように、Beckerで問題演習した後、テキストに戻って復習するという方法で行いました。TAXについては、要点まとめのテキストの内容が大変充実していたので、基本的にそれを何度も復習し、Beckerの問題を解く、という流れで行いました。また、新制度での追加トピックについても準備を怠らないようにしました。

AUD：Auditについては、正直、TACのテキストでは内容が不十分だと思いましたので、基本的にBeckerのテキストで復習を行うようにしました。Auditについては、基本的な監査の流れやポイントが理解できれば、細かい知識を覚えなくても解ける問題が多かったので、4科目の中で一番やりやすかったと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

2010年8月、2011年2月と2回受験しましたが、2回ともハワイで受験しました。受験の手続きは、TACのWebに細かく記載されていたため、特段問題もなく行うことができました。受験会場へは、ワイキキからバスで行ったのですが、一度だけ事故による交通渋滞により、通常の2倍近く時間がかかったことがありました。余裕を持って出発していたため間に合いましたが、けっこう冷や冷やしました。試験中は、寒かったのでトイレが近くなりやすいと思います。また、Regulationについては新制度での受験でしたが、旧制度との違いでは、Task Based SimulationでTABを変える時にデータが重いせいか5秒くらいかかった点があります。また、コンピューターのフリーズも起こりました。慌てずに係りの人に知らせ、試験を続けることができたので良かったのですが、かなりあせりました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

試験を受けた感想としては、MCについては、Beckerの練習問題の方が、問題文が長く内容も難しかったと思います。本番では、Beckerの練習問題にあるような長文の問題も出題されませんでしたので、Beckerの問題で何度も練習すれば、間違いなく高得点が狙えると思います。一方、Simulationに関しては、Beckerの練習問題に比べると、本番の問題の方が、細かい知識が要求されて計算も手間がかかる問題が多かったように思います。FARやREGでは、MCで時間が稼げたのですが、それでもSimulationでは時間が足りないくらいでした。新制度ではSimulationの配点が高くなるので、Simulation対策は怠らない方が良いと思います。



英語で会計知識を得られる資格として U.S.CPA を選択

高木 稚佳 さん

2011年1月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：94点（2010年11月／1回目）、BEC：85点（2010年11月／1回目）

REG：93点（2010年11月／1回目）、AUD：92点（2011年1月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

大学4年生の時、自分の専門分野とはまったく異なるファイナンス職への就職を決め、何か職種に関する知識を得たいと考えていました。簿記2級はとったのですが、もっと深い知識を得たいと思い、U.S.CPAを考えました。就職先も外資系企業ですので、英語で会計の知識が得られるのであれば、役に立つと思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

上記の通り、大学の専門分野も全く異なり、簿記の資格を取っていたくらいです。英語も、海外経験があるわけではないのですが、TOEICは960点でした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

いくつかの学校を見てまわりましたが、TACが1番カリキュラムや教材、サポート体制が整っているように感じました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

教材はとても充実していると思います。特に、内田先生や杉浦先生のテキストは、非常に使いやすかったです。問題集も十分に揃っていて、学習に不自由しませんでした。また、メールで何度も細かいことを質問していたのですが、どれも丁寧にご回答いただきました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学です。学習期間は1年ちょっとです。大学4年生の終わりに学習を始めたので、時間のある学生の内にDVDをほとんど見てしまい、入社してから復習をしていきました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

最初に合格までの学習計画を全て立て、ほとんどそれに従って学習していきました。U.S.CPAは細かい数字の暗記も多少あり、また、年が変わると改訂されることも多いので（私は2010年と2011年の試験制度の変更をまたいで受験しているので特に）、学習期間をだらだら延ばさないことが肝要だと思います。私の場合、2009年11月頃（大学4年生）に学習を開始したのですが、卒業証明書を得てからNTS取得、受験

申込となると、1番早くても1回目の受験が2010年の10～11月になります。よって、1年近い学習時間があるので、1回目の受験で3科目合格、2回目の受験は1科目だけになるので、2011年1月（学習期間は2カ月）にどうしてもおもうと考えました。それに従って学習計画を立て、あとはひたすら復習と問題演習を繰り返しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

初めての受験の際、試験開始時間と集合時間を勘違いして、遅刻をしました。「初めての受験だから」ということで受験を許可されましたが、今考えると本当に恐ろしいですね。

また、試験時間を勘違いし、迎えをお願いしたタクシーが帰ってしまった時は、スクールの中2時間タクシーを待ち続けました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

U.S.CPAは、とても広い分野の勉強が出来るので、キャリアを考える上でも有益ではないでしょうか。1年間しっかり計画を立て、その通りこつこつ学習していくことが合格への近道だと思います。



8年越しの目標達成

匿名希望 さん

2011年1月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：80点（2010年2月／1回目）、BEC：83点（2010年7月／3回目）

REG：79点（2010年7月／2回目）、AUD：81点（2011年1月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

学生時代に別の専門学校に半年間通学してグアム受験した経験が有り、一度志したものを最後までやりきりたいと思ひまして、5年間のブランクがありましたが再度チャレンジしよう決意しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識は学生時代に簿記2級を取得、9ヶ月間のアメリカ留学中に財務会計、管理会計、商法等を勉強しておりました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

前の専門学校の受講生救済措置がありまして受講料金が割安だったこと、TACはBeckerと提携されているので本試験と同じくPCで問題演習ができる点など。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2008年の秋より通信で学習しました。会社内の異動による中断や試験結果待ちの期間がございましたので実質的な学習期間は1年半です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

限られた時間で勉強するしかないので量よりも質にこだわりました。平日は朝5時起きて、頭が疲れていない会社に出社する前の時間に勉強するようにしました。あと次の日の勉強に影響が出るため、試験1カ月前からはお酒は極力飲まないようにしました。

FAR、BEC、REGはTACの講義を受けた後にTACの問題集を一通り解き、BeckerのPASS MASTERを2~3回転させ80%~90%の正解率になるまで解きました。BeckerのPASS MASTERは正答率がわかりますし、弱点箇所の把握に役立ちました。

最後に受験したAUDは他の3科目と同じ勉強法で臨んだのですが、点数があまり伸びなかったため監査に関連する市販の本を何冊か読んでみました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続は最初ニューハンプシャー州に出願したのですが、アメリカの大学の単位が認められず、州の出願変更を強いられました。粘り強く現地の担当者やり取りしたのですが、駄目でしたので出願州をアラスカ州に変更しました。

受験は結果が早く発表されるWindowの前半にするようにしました。後半だと結果発表が遅くなり、次のWindowのグアム試験会場の予約を希望した日程で取るのが難しいためです。

受験で驚いたのは会社の同期にグアムの試験会場で偶然会ったこと、受験手続をして後ろを振り返ったら同期が並んでいて、お互いUSCPAの勉強していることを知らなかっただけに非常に驚きました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

この試験は最後まで諦めない気持、失敗した時の気持ちの切り替えが重要だと感じました。

私自身、2010年5月に受験した時はBEC 74点、REG 73点で不合格となりましたが、5月末に結果が出てすぐに7月末の予定を押さえて受験し、2科目合格しました。合格科目の有効期限がありますので、一喜一憂せずどんどん受験するのが重要だと思います。

結果的に全科目合格までに1年間で5回（2月、5月、7月、10月、1月）もグアム受験に行きましたが、全科目合格して8年越しの目標を達成できて安心しました。

TAC テキストを信じて、仕事中心生活のなか1年で合格



Y.H さん

2011年2月 USCPA試験合格（メイン州）

FAR：85点（2010年7月／1回目）、BEC：84点（2010年7月／1回目）

REG：83点（2011年2月／1回目）、AUD：87点（2011年2月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

勤務先で財務関係の仕事を希望していました。

米国会計基準を採用している会社なので、人事や上司からUSCPA資格の勉強を勧められ、異動を後押しするきっかけになるのではないかと思います。勉強をはじめました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力は、5年前にTOEIC935を取ったことがあります（当時は英語でミーティングやプレゼンテーションを行う機会も多く集中的に勉強をしていました）。

会計知識は、新入社員の頃自己啓発で取得した簿記3級程度でした。ただ、大学が経済学部であったこと、SE経験があることからBECの経済学やITの概要は知っていました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

各社の説明会に参加し比較して決めました。

他社の説明会ではよく「TACは教材が膨大すぎて非効率だ」という説明を受けましたが、全科目を終えた今は必要不可欠な量だと思っています。

どのスクールを選んでも、試験合格に必要な理解量・暗記量は同じなので（当たり前ですが）、それならば1つ1つ丁寧に解説されているTACの教材は、他に手を広げる必要がないという意味でむしろ効率的だと思います。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

- とにかく、テキストがよかったです。非常に分かりやすく、試験範囲をバッチリカバーしているので1年間信頼して勉強することができました。テキストはすみからすみまで理解したので、試験で見たことのない言葉や分野が出て、「これはパイロット問題（採点されない問題）」だとすぐ判断できました。
- 他の合格者の皆さんおっしゃっていますが、内田先生のTAX(REG)、公会計（FAR）のまとめノートが本当に役立ち、また熱意の伝わってくる先生だったためがんばろうという気持ちを維持して取り組みました。
- 通信（DVD）での学習でしたが、内容についての質問をメールでき、わかりやすく解説して頂けるので便利でした。とはいえ、もともと教材の解説が手厚いので、それほど質問は必要ありませんでした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信（DVD）講座です。DVDはほとんど見ず、ほぼ、テキストと問題集で勉強しました。

学習期間は、2009年12月から2010年2月までの1年強です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

【学習パターン】

TACテキストの理解（理解が難しいトピックスはDVDも視聴）

↓
TAC問題集

↓
TACテキストの再度理解※まとめを作成（理解定着用なので、後から見直したりはしませんでした）しながら

↓
再度TAC問題集

↓
Becker Pass Master（過去問）

↓
以降、不安の残る所を何度も繰り返し

↓
直前対策テキスト

・Beckerのテキスト（英文）は、苦手な分野に限って少し読みました。正解率が低い分野は、英語のニュアンスでひっかかっているケースが多く（特にAudit）、Beckerのテキストを使い英文での理解を意識しました。

・どの教科も、TACのテキストを習得すれば十分カバーできるので、手を広げすぎないことが重要だと思います。

【学習スケジュール】

FAR、BEC：2009年12月勉強開始、2010年7月受験

AUD、REG：2010年7月勉強開始（REGは11月から）、2011年2月受験
半年ごとに2科目ずつ受けました。

私の感覚ですが、もし4科目一回受験だったら、半年×2＝1年ではなく、1年半～2年くらいかかったと思います。

逆に1科目ずつであれば、2ヶ月×4＝8ヶ月くらいで全科目合格できたのではないかと思います。

複数教科を同時並行して勉強するのは、記憶の流出も早いため何度も反復し…と無駄が多くなってしまいます。

とはいえ、海外受験は渡航費用も10万単位でかかり、会社も休み…と負担が大きいです、2回に分けて受けました。

【科目ごとの学習法】

特に、ありません。どの科目も「苦手な分野を探しそこを徹底的に理解する」「丸暗記はできるだけせず（忘れてしまうし、丸暗記が活きるような問題はない）、とにかく理解に努める」「自分の仕事との共通点を見つけて内容に興味を持つ」を徹底して勉強しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

【受験手続について】

特に大きなトラブルなく手続ができました。ただ郵送で行う手続きが多く、いちいち時間がかかるので早め早めに手続きを済ませ、それに合わせて勉強のスケジュールを組むのをおすすめします。自分の勉強の進行状況を見てから受験手続をしようと思っていたら、いつまでたっても受けられず、そのうちだれてしまうのではないかと思います。

【受験時のエピソード】

2回とも、グアムで受験しました。

私自身の反省点ですが…後半2科目、2回目の渡米の時、慣れもあり、節約してしまい安いホテルにしてしまったところ、とても壁の薄いホテルで、深夜に日本人学生の賑やかな叫び声がホテル中にこだましていました。ただでさえ緊張状態なので何度も起こされてしまえば悔しかったです。REGの試験中何度もボートとしてしまったのも、一番好きで得意だったREGが一番低いスコアだったのも絶対このせいだ。。というのは被害妄想が過ぎるかもしれませんが、ホテル選びは大事です！

テストセンターまでもバスで行くか迷いましたが、タクシーで行って正解でした。せっかくがんばって勉強したのですから、受験時に少々の費用をケチって、貴重な機会を台無しにしないようにしましょう！！

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

仕事をしながら勉強という方が多いと思いますが、私も平日は仕事で夜遅くほとんど勉強時間が取れないし、土日でも1日くらいは出かけてリフレッシュしたい、と思うとあまり時間はかけられませんでした。とはいえ、何年も受験生生活、というのは避けたい。

しかも、大学受験の頃と比べて、明らかに記憶の定着力が落ちていく…。どんどん記憶も流出するため、私はまず2科目だけ学習・受験をし、帰国後次の2科目の学習を始め受験をする、というスタイルにしました。まずは全科目学習して全体の流れをとらえるという勉強の仕方もあると思いますが、最初に4科目を学習し終わってから受験を始めるのでは、学習を終えたころには最初の科目の内容を忘れてしまってしまうのだと思ったからです。

今年から日本受験がスタートして、1ヶ月ずつの受験もハードルが低くなったのではないのでしょうか。私なら、1科目勉強し1科目受験、これを4回繰り返します。

とはいえ、ネット上の掲示板でアメリカ本土のCPA受験生の書き込みを見ると、いつでも受けられるからか、試験日の延期を繰り返しズルズルになっている方も結構いるようです。

海外受験だと、何ヶ月も前から職場に休暇の相談をして、エアチケットやホテルも予約して…と延期が困難なので、たとえ終電帰りや休日出勤が続こうと、「何が何でもこの日までに仕上げなければ！」というプレッシャーに後押しされ、結果ががんばれたと思います。ですので、日本受験の方も、周りに宣言し手続きも済ませて自分にプレッシャーをかけるのはおすすめです！



継続は力なり

若井 正幸 さん

学習院大学卒業
勤務先：金融機関にてPE投資に従事

2011年2月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：84点（2010年2月／2回目）、BEC：78点（2009年11月／1回目）
REG：75点（2010年5月／1回目）、AUD：76点（2011年2月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

社会人2年目の時、税理士の勉強（もちろんTACで）をしていたのですが、結局合格することができず、それ以来、自分の中で自信が持てる資格を取得したいと思っていました。そこでリーマンショック以降、金融機関の未公開企業投資の部署にいたため、仕事で拘束される時間が少なくなり勉強時間を確保しやすくなったことから、働きながら取得できる会計の資格としてUSCPAの勉強を開始しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

勉強開始時点の英語力はTOEIC500点程度とおそらくUSCPA受験者の中では最低ランクだと思います。会計知識は簿記2級、証券アナリスト取得くらいの知識がありました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

税理士を勉強した時や証券アナリスト取得の時もTACでしたので、USCPAで有名な予備校もありましたが、TACしか考えませんでした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

英語が苦手なのでTACテキストとBecker PassMasterしか基本は使用していませんが、パスマスターとTACテキストの問題対応表は勉強を進めていく上で非常に役に立ちました。また、Becker PassMasterの解説が英語なので、理解できないところは質問コーナーや質問メールを最大限活用させていただきました。また、勉強開始から最終科目（AUD）の合格まで、時間がかかってしまったため5年間継続再受講制度の利用によりAUDは安い費用で受講できたのでコスト的に負担を少なくすることが出来ました。

講師の方では特にREGの内田先生、AUDの帆足先生が印象に残っております。内田先生の授業はインパクトあり印象に残っております。特にまとめノートに関してはまとめノートがないとREGは合格できなかったのではないと思うくらい活用させていただきました。帆足先生は、監査の実務的な話から授業中に使用しているまとめプリントにより覚える論点がまとまっており役に立ちました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学で学習しました。2008年の秋冬コースで受講を開始したので約2年かかってしまいました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

学習方法は朝会社に行く前に1.5時間、夜1.5時間、土・日は約6時間の繰り返しです。夜は会社帰りにTAC自習室を利用し、土・日もほぼ毎日朝からTAC自習室に通い勉強しました。また通勤中はTACテキストを読みなるべく記憶に残しておくようにしました。勉強方法は、4科目とも基本的には同じで、授業が終わったらその復習と次の授業までにTAC問題集を2回転、科目の授業が終わるとBeckerパスマスターを試験までに5回転くらいはしました。試験直前は、試験に慣れるためパソコンでBeckerを繰り返しました。Beckerの勉強方法ですが、1回点目に各問題の回答にその問題の解説がTACテキストの何ページに記載されているのか問題の解説にTACテキストのページを記載し、TACテキストにはその該当部分を赤字で線をひき、次回以降に直ちに時間を短縮できるようにしました。そうすれば電車の中でもTACテキストの赤字の部分がBeckerの出題箇所となりますので、その部分だけ読み返せばいいこととなりますので少しでも効率的になるように考えました。REGに関してはとにかく内田先生のまとめノートを読み返しどの論点そのページのどの部分に記載されているか試験当日には思い出せるくらいまでになっていました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

TACの受講生のページに詳細に記載されているので手続で困ったことはありませんでした。これからは日本受験が始まりますのでグアムで受験する人は少なくなるとは思いますが、私はなるべく試験に集中するためホテル予約や移動の際の事務手続きをなくすために週末受験ツアーを利用しました。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

英語が苦手の私でも努力すれば結果が出る試験だと思います。働きながら勉強することは精神的にも肉体的にも非常につらいと思いますが、私みたいな英語が苦手な者でも合格できる試験なので努力は嘘をつかない試験だと思います。授業を4科目出席することも社会人には大変なことだと思いますが、とにかく自分を信じて継続すれば最高の結果に繋がるとは思いますのでがんばって欲しいと思います。

長いブランクの後の合格



吉原 アヤ子 さん

MPA, New York University, Robert F. Wagner Graduate School of Public Services,
9/2001
BA, International Relations and Economics (double major), Boston University,
5/1999
勤務先：国連機関 予算&財務部門の予算財務オフィサー

2011年2月 USCPA試験合格（イリノイ州）
FAR：（2010年11月）、BEC：（2009年11月）
REG：（2011年2月）、AUD：（2010年5月）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

前職で、簿記2級を取るよう指示されTACで簿記2級受験コースに入学したのがきっかけです。大学院在学中に教授の紹介で知り合いになった国連本部に勤める日本人職員の方から国連機関に勤めるにはと色々なキャリアアドバイスをもらっていたのですが、この簿記2級の件を伝えたら、簿記2級が簡単だったならCPAをやってみるといいとアドバイスをもらい、CPAとは全く関係のないところにいたためその難しさを知らずに、簿記2級をとったらCPAもそう遠くないんだという勘違いと、国連機関でもマネジメント職などでCPAはAssetだというアドバイスのもと始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語力には問題ありませんでしたが、逆にTACに入学した頃は、日本語の単語などかなり忘れていて聞きながら書き取るというのがてこずっていました。会計は前述の簿記2級程度です。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

前述の簿記2級コースでお世話になり教材も先生も気に入ったのでTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

市販されていないBecker教材が購入できることと、私のように長いブランクがあっても5年間再受講制度のおかげでサポートを受けられるところです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信です。自宅で東京でのコースのビデオを見て勉強する形です。

合格までの学習期間はブランクがあるので通算すると長いです。2005年の春にTACに入ると同時に提携大学に入学しイリノイ州で必要な会計単位を取り始めました。2006年春にCPAを受けられるという教育基準を満たし、2007年春までに、全教科試験を受けました。が、全く勉強できておらず、テキストブックもすべて読み終わらずの状態、ニューヨークやハワイにバケーションに行ったついでに試験を受けた形になってしまいました。

それから仕事をもっと忙しくなり、2008年4月には念願の国連機関への転職でオランダに来ることになり、2009年10月まで2年半の長いブランクです。

現ポストの仕事は毎日忙しいので、このままではずるずるとやらないで終わってしまうと危機感を感じ、2009年10月

からBeckerの教材を買いなおし一念発起してCPAの勉強再開しました。2009年11月から1科目ずつ受験し、2011年2月に全科目合格しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

仕事が毎日忙しいので、勉強時間の確保と体力と気力の回復が問題でした。通勤時、ランチ時、仕事終了後など平日にテキストをちょっとずつ読んで理解、週末に一気に問題を解くというのが通常のパターンでした。そして学生時代からの学習法で、試験の直前の3週間ぐらいは完全にプライベートをShut Upして集中勉強して、試験後にバケーションをとってリラックス、体力と気力の回復をしていました。

Simulationは、ぶっちゃけると、一度も準備をしてません。Multiple Choicesに必要な知識の積み重ねかなと思います。Writingが私にとっては比較的楽なので、メジャーな項目のDefinitionなど理解&暗記するのに時間かけました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験は大体学生時代を過ごしたニューヨークかボストンで受けました。日本から近いからとハワイに受験に行った時、食事とかどこに行くかいちいちガイドブックで調べないといけないから、知ってる都市の方が動きやすいと思ったからです。

試験は1科目ずつ受けました。金曜日の仕事終了後にアムステルダムからNYに飛び、週末は時差の調整と大好きなオペラ鑑賞やレストランなどでリラックスしながら、全体を復習、月曜日に試験を受けてその夕方NY出発、火曜日の朝8時にアムステルダム着でそのままオフィスに直行で仕事というハードスケジュールでした。

REGだけ新試験で受けましたが、Simulationの比重が多いだけでなく、Writingがなくなって私には不利でした。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

全体の勉強が終わったら、あと一押しという感じで、細かなところをチェックすることが重要だと思いました。そういう細かなところがMultiple Choicesに出ることがけっこうありました。

それから1科目合格してしまうと18ヶ月以内に全科目合格しないとイケなくて、仕事が忙しいとかexcusesは言ってもらえないし、時間の経過がプレッシャーになったので、タイムマネジメントは非常に重要だと思いました。

最後に、仕事やプライベートの都合でブランクができることがあるでしょうが、Better late than neverと思って自分のペースで頑張ってください。



Becker との提携はもちろん、法律改正や新試験制度への対応の早さが TAC の魅力

小林 比呂武 さん

慶応大学 文学部 卒業
勤務先：大手マスコミにて営業企画を担当

2011年2月 USCPA試験合格（メイン州）
FAR：79点（2010年5月／1回目）、BEC：86点（2010年5月／1回目）
REG：80点（2010年8月／1回目）、AUD：89点（2011年2月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

英語と会計の知識はどこでも広く求められると思いますが、その最低限の知識を持っている証明としてUSCPAに興味を持ったからです。

もう少し属人的な理由としては、海外旅行が好きでアメリカにもよく行っていたのですが、ただ単に海外行ってお金を落とすだけではなく、実になる何かにチャレンジしてみたかったから。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

TOEICは910点でしたが、会計知識は全くありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

当時住んでいたマンションに近かったから。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Beckerとの提携はもちろんですが、法律改正や新試験制度への対応が早いように感じました。このあたりはTACの組織力を見た気がしました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信です。TACのWEB通信講座は、私の受講中も少しずつ進化していました。受講当時は1.3倍速で講義が聴ける機能があり、便利だと思いましたが、途中から倍速もできるように。現在はiPodへのダウンロードも可能みたいです。不得意な箇所を再視聴する際は、倍速で視聴していました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

小型のノートパソコンを買って、そこにBecker DVDやテキストをスキャンして、持ち歩いていました。旅行中や通勤途中でもMCを10問でも解けそうな暇な時間をチョコチョコ見つけては、問題を解いていました。Beckerは紙のものも配られますが、PC上の方が正答率が細かく確認できますので、努力の成果や苦手な分野が分かるのでおすすめです。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

かなりスムーズでした。NASBA絡みでよく聞く手続きの煩雑さ、やる気の無さは感じませんでしたね。

<1回目の受験>

グアムで初回受験（FARとBEC）の時、宿泊費を節約しなかったのが、エクスペディアでタモンの格安ホテルを予約したのですが、ここから試験会場までタクシーで片道30\$位取られた。2日に渡って受けたので、会場までの移動だけで120\$取られたこととなります。意外と想定外のコストが潜んでいることを痛感しました。

<2回目の受験>

ニューヨークでREGを受験しました。ちょうど夏だったので、旅行も兼ねていきました。

ニューヨークには試験が受けられるプロメトリックセンターがたくさんあるので、直前でもどこかしらで空席を見つけられそうな感じがします。

<3回目の受験>

Haechang Tourという韓国の旅行代理店がやっているグアムの週末試験制度を利用して、1泊2日でAUDを受けました。土日に受験できて、ホリデイリゾートに宿泊、試験会場および空港への送迎がついて、390\$という料金設定でした。はっきり言ってポロい商売だと思いますが休みを自由に取れない大方の会社員にはこれしか選択肢がないので、少しでも早く合格したい人は検討してもよいかもしれません。僕は結局、この制度のおかげで早く完全合格することができたので、特に文句もありません。

Q8 これから合格を目指す方へのアドバイス

4科目、すべての試験で終了後、できた！と思ったことはありませんでした。でも、すべての科目1発で受かりました。

受けた科目で自信がなくても、そこで立ち止まらず、次の科目の学習を始めると良いと思います。それが時間のロスなく合格する近道だと思います。

Beckerをとにかく5回転位はしたほうが良いのではないのでしょうか。

問題を解きまくっていると、回答を丸暗記しているだけではないかと疑心暗鬼になり、教科書を何度も精読していると、実戦力が不足しているとなんか気持ちが揺らいでしまいますよね。でも、まずは5回転Beckerを回して、基本論点や解答力をひと通りこなした後で、細かい論点をテキストや講義の再視聴で拾うアウトプット優先型の方が良いと思いました。新試験制度になってから受けたAUDは自分の予想を上回る点数でした。BEC以外の科目についてWCがなくなることは多分大方の日本人受験生にとっては朗報なのでしょう。前向きに頑張ってください！ご健闘をお祈りします。



学習スタートに年齢は関係無し！いつまでも、どんな国でも働けるように！

金子 登志江 さん

1958年12月生まれ
日本大学(通信教育部)文理学部英文学専攻 2010年3月卒業
勤務先：株式会社AMLジャパン 経理担当

2011年1月 USCPA試験合格(アラスカ州)
FAR：88点(2011年1月/2回目)、BEC：83点(2010年7月/1回目)
REG：88点(2010年7月/1回目)、AUD：79点(2010年7月/1回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

派遣社員として経理の仕事をしながらずキャリアアップしたいと考えていました。女性は年齢を重ねるにつれ、仕事を続けることが難しくなります。私の母は55歳で定年を迎えましたが、現代は寿命も延びています、女性の生き方も変わってきています。長く働き続けるためには何か資格を取ることが必須です、このように時代に、どこの国でも働けるようになるということは大切なことです。長く働き続けること、そしてどこの国でも通用する仕事をしたいということがUS.CPAを目指すようになったきっかけです。
日本で経理の仕事をしていて感じることは、会計士さんと税理士さんで英語が得意な方は非常に少ないように思います。専門的な勉強でお忙しいということもあるかと思いますが、会計と英語、両方を身に付けていればそれなりのニーズがあるのではないかと感じていました。そんな時に書店でこの資格にチャレンジした人の体験記を見つけ、こういう資格を日本で取得することができるという事を知り、まず無料講座説明会に出席してみました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

英語はもともと好きで、2007年に受験したTOEICは955点でした。
学習を開始した時点で既に経理の仕事には就いておりまして、就職前に日商簿記2級とBATICのAccounting Managerも自学自習で取得していました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

簿記2級を勉強する時に、TACの問題集を使って勉強しまして、とても分かり易い教材でした。US.CPAでの説明会でも教材見本を見せていただきましたが、かなり充実していると感じました。
もう一つの大きな要因はやはりTACの校舎の立地条件です。私は2008年春、現在勤めている香港に本社をもつ外資の会社に入社、英語で経理のできる人という条件で入社しました。すでにUS.CPAへの思いはあったのですが、まず私には受験資格が必要でした。通信制の短大卒という条件では出願できないと知り、まずは大学に編入し、そこから2年かけて卒業、最後に足りない会計単位はTACの単位認定試験プログラムで取得するというプランをたてました。アラスカ州は卒業見込みで出願できますから、日大の通信3年生に編入し、順調にいくには出願できるだろうということで勉強を始めたのです。TACの水道橋校は日大からも近いし、会社からの位置関係も良かったのでたいへん助かりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

水道橋校で通学ビデオ視聴という形態で勉強しました。
平日は8時くらいに帰宅しますので、自宅での学習時間は平日5時間くらい、土日はできるだけ1日中勉強するようにしていました。最初のうちは時間を決めて勉強していましたが、途中から時間がなく、内容で回していくように心がけました。1日100題を目安にしましたが、間違えた論点の復習に時間がかかり、1日のノルマが終わらずに、翌朝や電車の中の時間にずれ込んでしまったこともありました。
今年が子供の大学受験が重なり、7月にグアムで受験後から結果を待つ間は息子の勉強中心に生活スタイルをシフトしました。私の方の受験結果が出てから、FARを急ぎよ12月に出願して1月に受験すること決めて、1月で仕上げることになりました。冬休みが間にりましたので、クリスマスもお正月も返上して勉強に専念し、寝ている時間と勤務時間以外はひたすら勉強していました。この頃は睡眠時間を4.5時間まで削り、体力的に辛い時期でしたが、会社では皆さんが協力して下さい、とても嬉しかったです。

Q6 合格までの学習法(全般的なこと/科目別)

講義を受講後すぐに家で復習するのが基本ですが、受講期間が大学の四年次と重なり、最初の半年間は大学の卒業で忙しく、講義を受けるだけで精一杯でした。まずは確実に卒業することに集中し、当初のプランを変更し大学の勉強中心になりました。
幸運だったのは、会社が外資ですから、実際に海外から監査法人がきて監査を受けることができたことです。入社2度目の監査は、監査論を勉強した直後だったので、実際に目の前で実行されていることについて、こういう目的で行われているのだなという事が良くわかって大変興味深かったです。どちらかというと私のスタイルは、自学自習型です。教わるというより自分でテキストを読み、自分なりにテキストに書きこみをして、ノートにまとめてたりして勉強しました。もちろん先生方の講義は工夫されていてそれはそれでとても楽しかったです。
ほとんどの方がコンピュータベースでBeckerの演習をするかと思いますが、私は学習を開始した当時、家にPCがありませんでしたので、紙ベースで2周しました。紙ベースだと順番がいつも同じですから、本来はあまり好ましくないかもしれませんが。
FARは1度不合格となりましたが、これは出願手続きとも関係しています。最初のプランでは2科目ずつ受験する予定でしたが、4科目すべて一度に受験することになりまして、しかも家庭の事情などが重なり、学習時間を十分確保するのが難しくなり、全科目を合格レベルまで仕上げることを断念せざるを得なくなりました。どの科目を断念するかを考えた時に、暗記の多いREGは1回で

勉強しないと忘れてしまうので次回には回せない、そしてAUDは英語をしつかり読めば出題者の意図が読めるので暗記に頼らなくても大丈夫だと思いました。BECも新試験制度に変わるとWRITINGが増えますからやはり1度で合格しなければなりません。消去法でFARは諦めることになりました。運が良ければ受かるかもしれないと思いながら試験には臨みましたが、受験前夜まで出題範囲に会計が含まれていることをすっかり忘れていたような有様でしたので結果は悲惨でした。
科目ごとの勉強法ですが、FARは計算が大切だといわれていますが、私の感覚ではFARは計算より考え方や理論が大切だと感じました。逆にBECの原価計算や資本コストの方が計算自体は複雑です。US.CPAの試験には、日本の会計士や税理士試験のように、それほど複雑な計算や暗記は必要なく、何が問われているのかというポイントを押さえれば合格できる試験だということが実際に勉強してみて感想です。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

学歴審査には4か月もかかりました。通信制の短大で取得した単位について、会計単位として評価するため、公式のシラバスのタイトルとテキストの執筆者についての英訳を送ってほしいというリクエストがきました。日本の大学で公式英訳を出しているところはほとんどありませんから、私が在籍していた当時のものについて日本語で記載されたものを送ってもらい、それを自分で英訳して郵送し、やっと学歴審査が通って受験できることになりました。
逆にNTSはすぐに来てしまい、今度は勉強が間に合わないというジレンマに陥りました。2月初旬にNTSが届いたので、そこから6か月以内の受験となると、夏休みに突入するので、予約はとれないし、旅費も高くなります。4月は監査もありまして仕事も忙しくなるという諸事情を考慮し、結局7月に4科目1度で受験することを決意しました。3月に大学を卒業しましたので、審査にこんなに時間がかかるなら普通にメイン州で出願できたかもしれません。
受験はすべてグアムでしました。日本受験が始まるという誘惑もありましたが、秋まで待つ受験し、また結果がでてから万が一再受験ということになると予約がとれないかもしれないという事態も想定して、結局グアムで受験することを選択しました。

Q8 学習したことが現在のお仕事に役立っていますか？

監査の人はこういうことを知りたいのだから、こういう資料を日ごろから作って用意しておいたらよいのではないかと、香港は日本の基準ではなくIFRSですから、報告書類を作成するうえでUSCPAを勉強しているといいたいへん役立ちます。また、会計用語は普通の辞書にはあまり載っていませんから、用語を知っているというだけでも仕事の上では有効です。
会社を早めて退社したりすることもありましたが、皆が応援してくれました。社内にLearning Organizationというスローガンがあって勉強する人を応援する社風があるのがとても良かったと思います。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

諦めなければ絶対に受かる試験です。しかし逆に何年もかけて受験するような試験ではありません。アップデートが早いですからどんどん試験制度もかわっていき、勉強している間にも出題されるものが新しく更新されていくわけですから、私は学習スタートから合格まで2年かかりましたが、それでも私は時間をかけすぎたと思っています。暗記に不安があったということもありますが、これ以上かけてしまったら忘れてしまうところでした。実際合格した方も、真実に勉強したのは最後2か月という方もいらっしゃいました。できるよになつてから受験しようと思ったらどんどん受験は遅れていきます。日程も自分で決められますし、締め切りもありませんから、前倒しして受験の計画をたて、自分にプレッシャーをかけて勉強していくことが大切なのではないでしょうか。
TACの授業では簿記の初歩から教えてもらえますから、どんな人でも挑戦できます。特別な人でなくても挑戦できるという事をぜひとも皆さんにわかっていただきたいと思っています。
最後に、派遣社員をしているとキャリアアップしたいという人の気持ちが痛いほどわかります。女性は40代後半になりますと本当に仕事を見つけるのが大変です。そういうことで行き詰まっている方に勇気を持って前進してもらいたいと思っています。

Q 新試験について

旧試験と新試験制度両方を経験して感じたことは、電卓が使いやすくなったということです。画面上に出るのに変わらないけれど、途中計算が画面上に残るので自分でメモを取らなくてもよく大変使い勝手がよくなりました。おそらく使いにくいという声が多かったのではないのでしょうか。
おそらく受験しやすくなったと思います。以前はシミュレーションで自分が準備しなかった論点が出るのと合格は厳しい感じでした。シミュレーションを読むだけですぐ時間かかるけれど、解くことにはそれほど時間はかからない。つまり内容的に難しくはないけれど量が多く、正しい数字を入れていかないと、難しくないので時間に時間だけ取られるような問題が多かったとおもいます。新試験では、時間がとられるような問題はなくなり、理解さえしていれば解けたので、解きやすくなったと思います。